

令和7年度

# 国への提言・提案

(国土交通省関係分)

令和6年4月



三重県

# 1 災害に屈しない県土づくりのための防災・減災、国土強靱化の推進 能登半島地震の教訓を踏まえた防災・減災、国土強靱化の推進

提言内容 能登半島地震において甚大な被害が発生した教訓を踏まえ、**防災・減災、国土強靱化を推進**すること。

三重県は、南北に長く半島を有するなど、能登半島地震で大きな被害を受けた石川県と地理的条件が類似  
南海トラフ地震災害や激甚化・頻発化する風水害に備え、防災・減災、国土強靱化の取組強化が必要

## 地震・津波から直接被害を防ぐための対策

### 住宅耐震化の促進

- 地震時に建物の倒壊を防ぐため、昭和56年以前に着工された**木造住宅の耐震改修工事への補助限度額の増額**



### 津波避難タワーの整備

- 短時間で襲来する津波から避難するため**津波避難タワーの整備への支援の充実**



等

## インフラの長期に渡る機能不全を防ぐための対策

### 下水道施設の耐震化

- 下水道施設の被災による公衆衛生問題や交通障害の発生を防ぐため、**下水道管路やマンホールの耐震化を推進**



等

## 救助・救急対策が迅速に行われるための対策

### 「命の道」となる代替路の整備

- 国道42号の津波浸水被害に備えた**近畿自動車道紀勢線等の整備促進**や、津波浸水想定区域を回避する**伊勢志摩連絡道路等の整備**



### 既設道路の機能確保

- 災害発生時における道路の輸送機能を確保するため、**橋の耐震対策、法面・盛土の土砂災害防止対策、沿道建築物の耐震化、無電柱化**



### 道路啓開の迅速化

- 南海トラフ地震に備え、国土交通省、県、市町、建設業者等が連携している**「中部版くしの歯作戦」の能登半島地震の教訓を踏まえた見直し**



等

**能登半島地震の教訓を踏まえた国土強靱化の推進と必要かつ十分な予算の確保を**

# 1 災害に屈しない県土づくりのための防災・減災、国土強靱化の推進

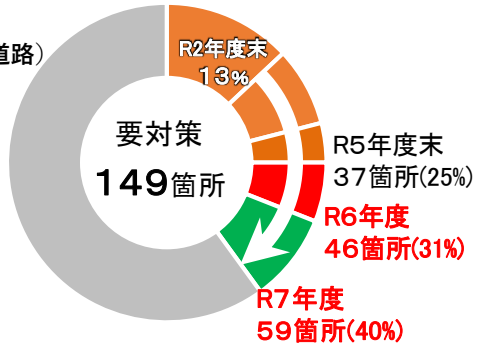
## 防災・減災、国土強靱化の強力かつ計画的な推進、地方整備局等の人員の確保・充実

提言内容	<p>1 防災・減災、国土強靱化を推進するため、<b>必要かつ十分な予算を確保</b>するとともに、能登半島地震の教訓や資材価格の高騰、賃金水準の上昇を踏まえて<b>国土強靱化実施中期計画を令和6年内に策定</b>し、5か年加速化対策後も、必要な予算・財源を<b>継続的かつ安定的に別枠で確保</b>すること。</p> <p>2 災害発生時における地方自治体への迅速な支援に加え、地域の防災・減災、国土強靱化を加速化するため、<b>地方整備局等の人員の確保・充実</b>を継続的に図ること。</p>
------	---

### 必要かつ十分な国土強靱化予算の確保

全18項目の対策メニューで**県独自の令和7年度までの達成目標**を設定し、国土強靱化を強力かつ計画的に推進

【対策例】  
法面・盛土の土砂災害防止対策（緊急輸送道路）



### 国土強靱化対策 効果発揮事例（一般国道260号 災害防除事業）



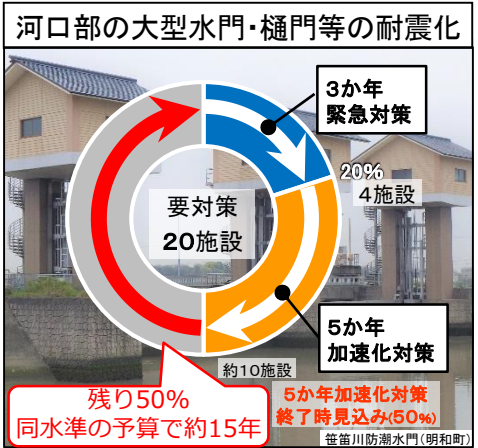
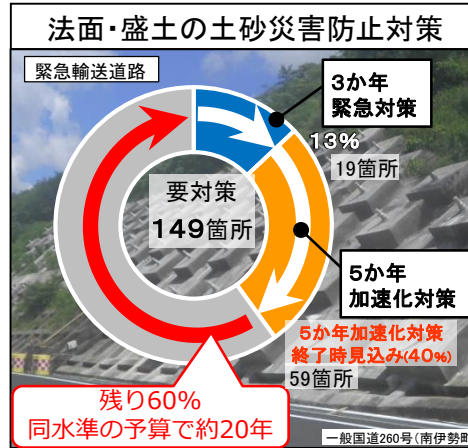
第二次緊急輸送道路に指定されているが、法面に変状が確認され豪雨時に法面が崩壊し、道路の通行が困難になるリスクがあった



令和5年6月の台風2号により時間雨量43mm、累計461mmの降雨があったが、法面崩壊による通行止めは発生しなかった

**目標達成に向けて必要かつ十分な予算の確保が必要**

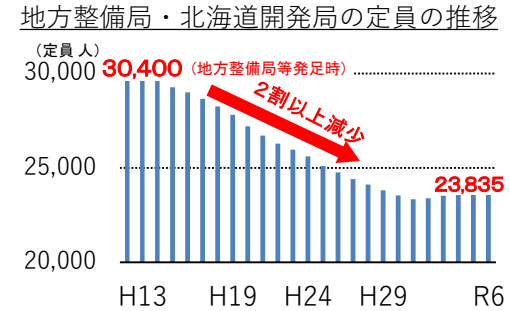
### 5か年加速化対策後の計画的かつ安定的な予算の確保



3か年緊急対策・5か年加速化対策により国土強靱化が着実に進んでおり、5か年加速化対策後も**継続的かつ安定的な予算の確保が必要**

### 地方整備局等の人員確保

- 地方整備局等の定員は、この5年間は微増しているものの、発足時に比べて**2割以上減少**
- 能登半島地震では1カ月のべ1万人の地方整備局員がTEC-FORCEとして災害対応

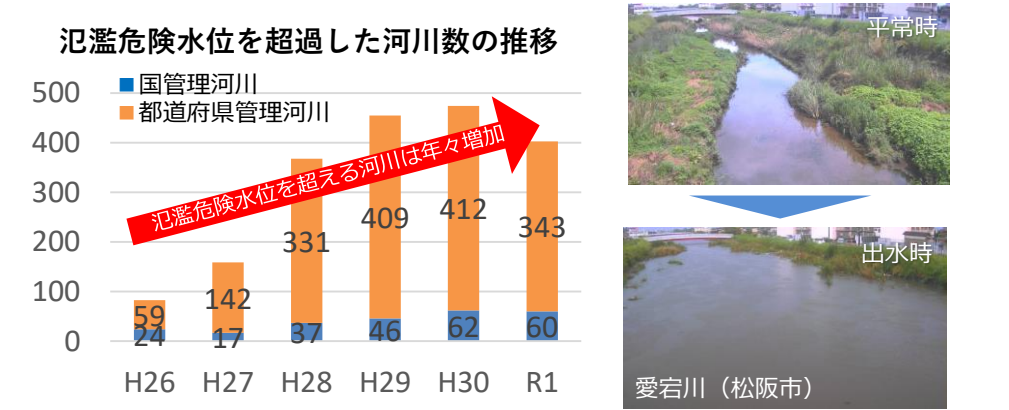


**地方整備局等の人員の継続的な確保・充実を**

# 1 災害に屈しない県土づくりのための防災・減災、国土強靱化の推進 緊急浚渫推進事業など地方債の延長

**提言内容** 地方自治体が国土強靱化に資する対策を円滑に進められるよう、**緊急浚渫推進事業**や緊急自然災害防止対策事業、緊急防災・減災事業等の**地方債の延長**を図ること。

## 緊急浚渫推進事業を活用した堆積土砂撤去の加速



県管理河川の氾濫の危険性が高まるなか、市町や県民から堆積土砂撤去の要望が強かったが、予算の確保に苦慮していた。  
⇒令和2年度に緊急浚渫推進事業を創設いただきました

### 河川堆積土砂撤去 効果発揮事例 (二級水系加茂川水系加茂川)

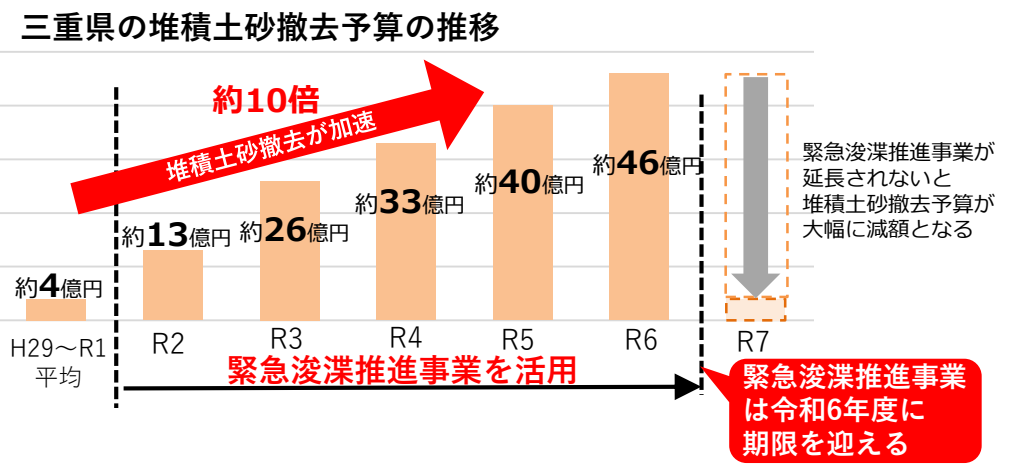
**対策前**

河川内に土砂が堆積し、洪水が発生するリスクがあった  
(近年の流域での浸水実績)  
平成27年9月台風18号 床上1戸、床下8戸  
時間雨量99mm、24時間雨量350mm

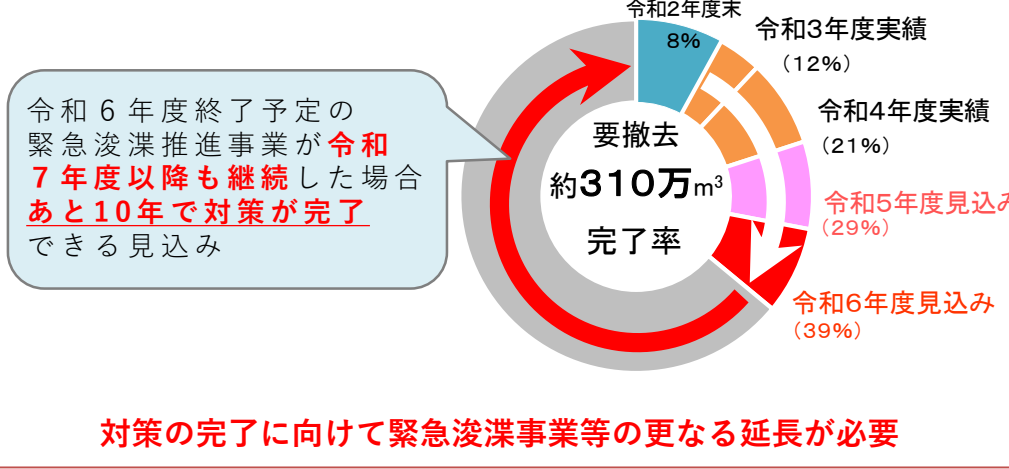
**対策後**

堆積土砂を撤去したことにより、河川の水がスムーズに流れ洪水発生リスクが軽減された  
令和5年6月の豪雨では、平成27年9月豪雨と同程度の雨が降ったが、洪水は発生しなかった  
時間雨量60mm、24時間雨量401mm

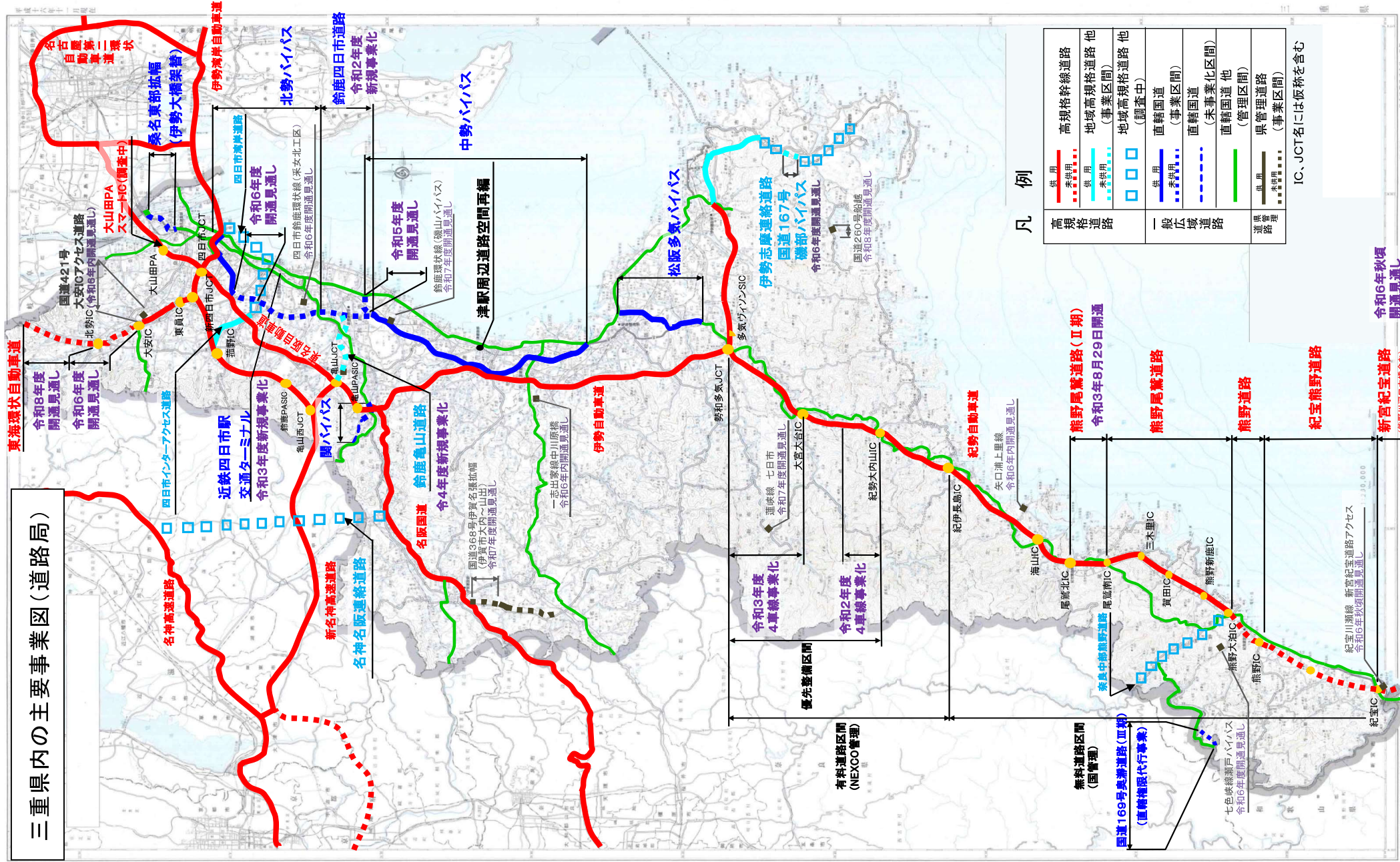
## 国土強靱化の推進に必要な地方債の延長



→緊急浚渫推進事業を活用して堆積土砂撤去が加速する中、緊急浚渫推進事業など**地方債の終期が迫っている**



# 三重県内の主要事業図(道路局)



## 凡例

高規格道路	供用 未供用	高規格幹線道路 地域高規格道路他 (事業区間) 地域高規格道路他 (調査中)
一般止域道路	供用 未供用	直轄国道 (事業区間) 直轄国道 (未事業化区間) 直轄国道他 (管理区間)
道路管理	供用 未供用	県管理道路 (事業区間)

IC、JCT名には仮称を含む

熊野尾鷲道路(II期)  
令和8年8月29日開通

熊野尾鷲道路

熊野道路

紀宝熊野道路

新宮紀宝道路  
(熊野川河口大橋含む)  
令和6年秋頃  
開通見通し

## 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

### 「命の道」紀伊半島一周高速道路の早期実現、紀勢自動車道および熊野尾鷲道路の4車線化の早期整備

要望 内容	<p>1 地方創生、国土強靱化に資する「命の道」近畿自動車道紀勢線のミッシングリンク解消に向けて<b>熊野道路</b>、<b>紀宝熊野道路</b>および<b>新宮紀宝道路</b>の整備を推進し、<b>高速道路紀伊半島一周を早期実現</b>すること。</p> <p>2 <b>4車線化事業化区間の早期工事着手</b>、<b>未事業化区間の早期事業化</b>を図るとともに、直轄無料区間については、有料制度の活用など<b>安定的な財源の確保</b>について、<b>地域の意見も踏まえ検討</b>すること。</p>
----------	--

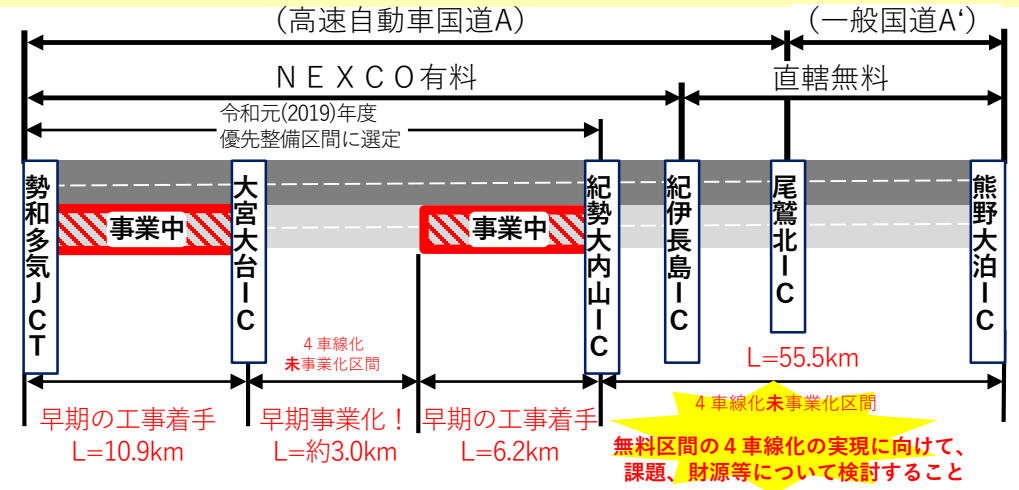
#### 「命の道」紀伊半島一周高速道路の早期実現を！



#### 能登半島地震により「命の道」の重要性を再認識！



#### 紀勢自動車道および熊野尾鷲道路の4車線化早期整備を！



## 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

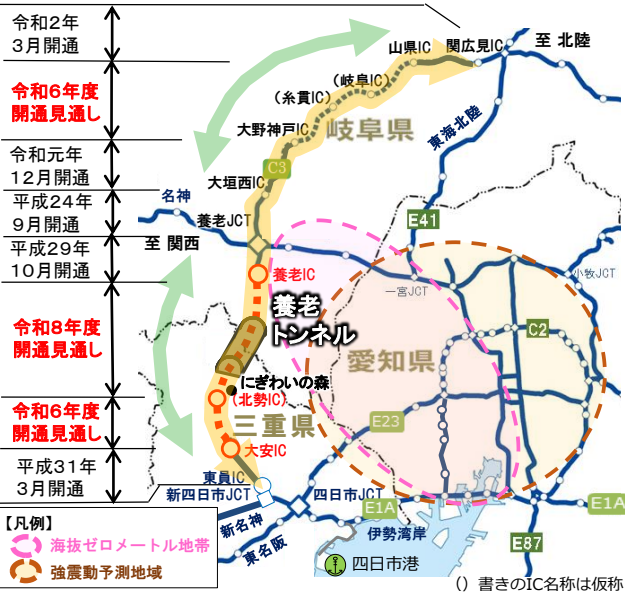
東海環状自動車道の整備推進、東名阪自動車道大山田PAスマートIC（仮称）の調査推進、新名神高速道路6車線化の早期事業化

要望内容

- 1 **東海環状自動車道**について、令和8（2026）年度の全線開通に向けて着実に**整備を推進**すること。
- 2 東名阪自動車道**大山田PAスマートIC**（仮称）について、新規事業化に向けて**準備段階調査を推進**すること。
- 3 **新名神高速道路**四日市JCT～亀山西JCT間の**6車線化の早期事業化**と**財源を確保**すること。

### 中京圏のものづくりを支え、地域活性化に寄与する東海環状自動車道

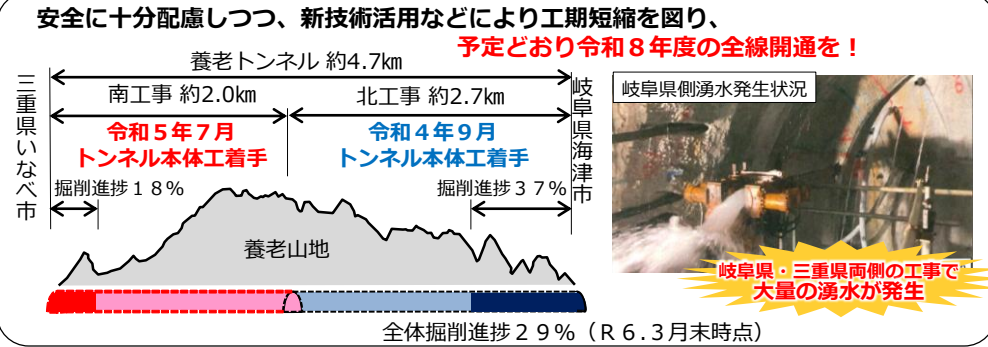
#### 令和8（2026）年度の全線開通に向けて着実な整備推進を！



災害リスクが高い**強震動予測地域**（震度6強以上）や**海拔ゼロメートル地帯**をルートや構造により**回避**

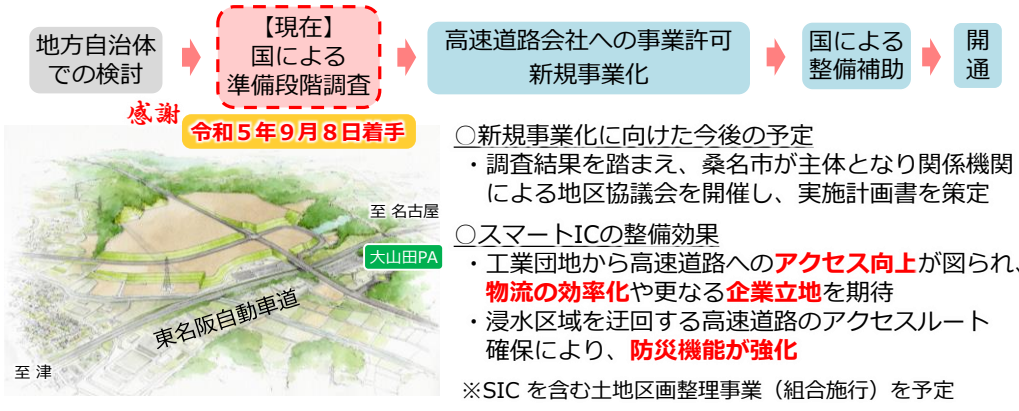
大規模災害に対し**安全かつ円滑な物流を確保**し、**災害支援物資の搬送**や**企業のBCP**に寄与

【大垣市～四日市市の輸送時間】  
整備前100分 → 全線開通後55分  
**45分短縮**



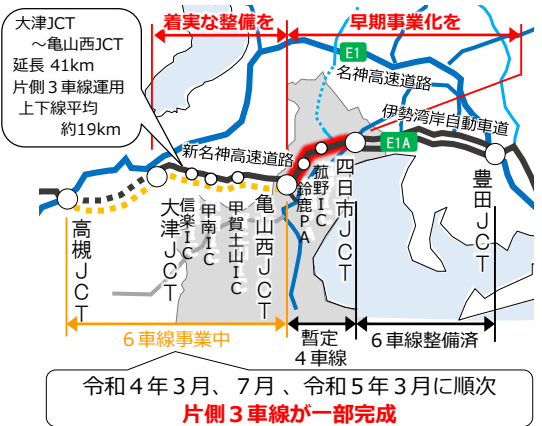
### 産業活動を支援し、防災機能を強化する東名阪大山田PAスマートIC（仮称）

#### 新規事業化に向けて準備段階調査の推進を！



### 物流の効率化に寄与し、生産性向上に資する新名神高速道路

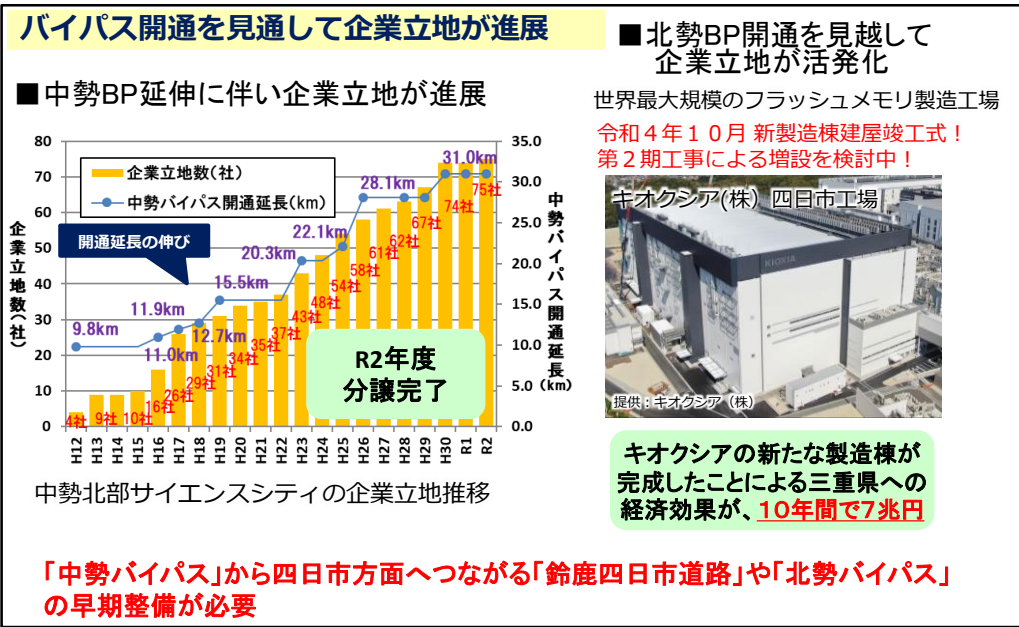
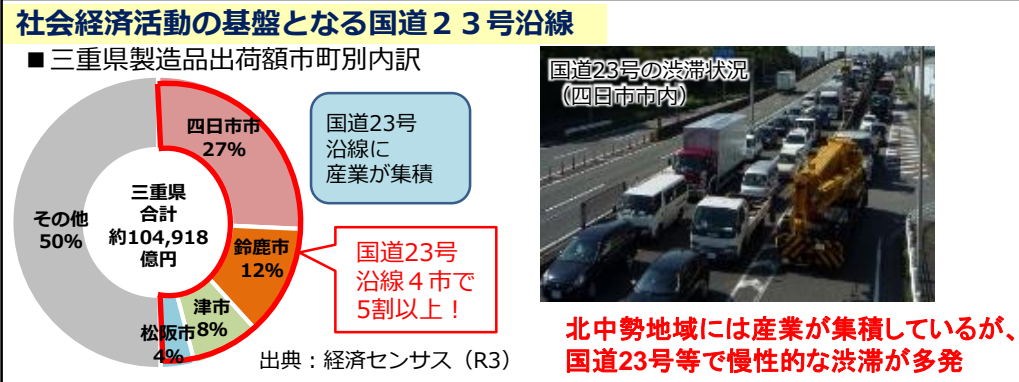
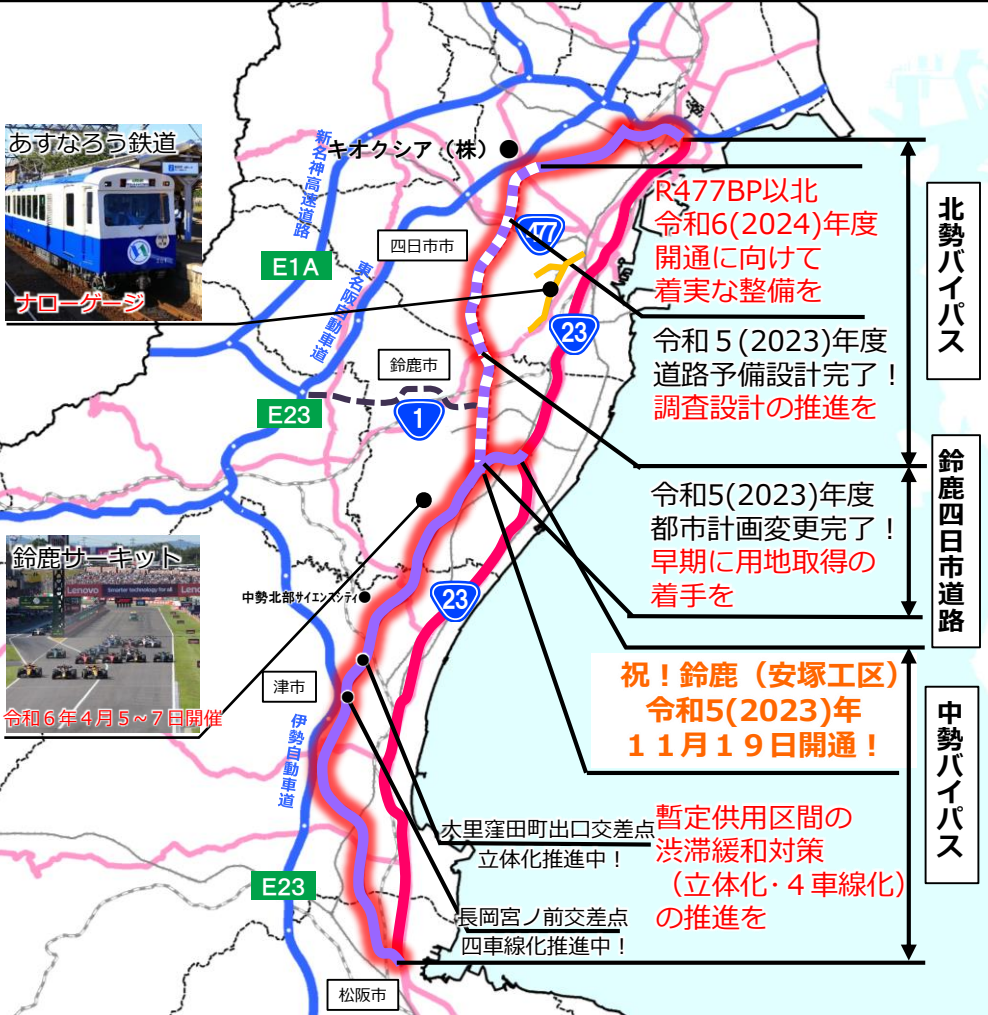
#### 四日市JCT～亀山西JCT間の早期6車線化と財源の確保を！



## 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

国道1号北勢バイパスの全線開通に向けた整備推進、国道23号鈴鹿四日市道路の整備推進、国道23号中勢バイパスの暫定供用区間の渋滞緩和対策（立体化・4車線化）の推進

- |    |   |
|----|---|
| 要望 | 1 国道1号北勢バイパスの国道477号BP以北の令和6年度の開通に向けて着実な整備を進めるとともに、残る区間の調査設計を推進すること。 |
| 内容 | 2 国道23号鈴鹿四日市道路について、早期に用地取得に着手すること。                                  |
|    | 3 国道23号中勢バイパスについて、暫定供用区間の渋滞緩和対策（立体化・4車線化）を推進すること。                   |





# 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進

## 国道1号桑名東部拡幅（伊勢大橋架替）、国道42号松阪多気バイパスの整備推進および関バイパスの整備方針の検討

- 要望内容
- 1 国道1号桑名東部拡幅の老朽化著しい伊勢大橋の架替について、着実に**整備を推進**すること。
  - 2 国道42号松阪多気バイパスの朝田町南交差点立体化について、着実に**整備を推進**すること。
  - 3 国道1号関バイパスの**整備方針の検討**を行うこと。

### 物流の効率化・産業振興に大きく寄与する 国道1号桑名東部拡幅(伊勢大橋架替)

#### 重量制限解除で大幅な物流効率化を実現



伊勢大橋架替後の  
輸送ルート  
往復50分

現在の迂回  
輸送ルート  
往復60分

17基の下部工が完成済  
上部工工事も契約済

**着実な整備推進を！**



### 朝田町南交差点の立体化で企業の生産性向上に寄与する 国道42号松阪多気バイパス

#### 既開通区間の渋滞を解消



着実に整備が進む橋梁工事

②朝田町南交差点付近

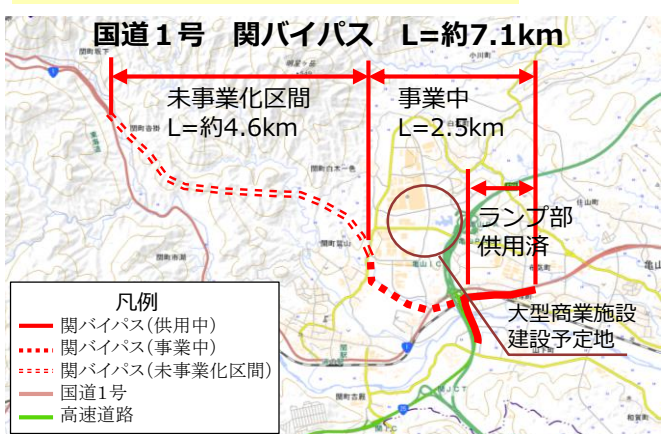
20基の下部工が完成済  
上部工工事を一部契約済

**着実な整備推進を！**



### 適切な交通機能の分担を図るとともに道路交通安全にも 寄与する国道1号関バイパス

#### 未事業化区間も含めた事業展開を検討



立地協定締結式  
(令和4年2月28日)

大型商業施設の开店により  
国道1号や周辺道路の  
交通集中や渋滞の発生が  
懸念

交通量の増加や  
交通形態の変更が見込まれるなか  
地域の交通課題解消に向け  
**整備方針の検討を！**

## 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進 鈴鹿亀山道路の予算確保及び亀山JCT部における早期整備に向けた必要な支援の検討

- 提言内容
- 1 鈴鹿亀山道路について、**早期整備等**のため**十分な予算を確保**すること。
  - 2 **リニア三重県駅開業**を見据えた**鈴鹿亀山道路整備**のため、**亀山JCT部**において、**早期整備に向けた必要な支援を検討**すること。



**整備効果**

【高速道路へのアクセス性向上】  
・鈴鹿市街地から亀山JCTまで  
**40分⇒15分（約25分短縮）** ※混雑時

【防災機能の向上】  
・鈴鹿市周辺の国道1号・23号では津波浸水による寸断が想定されるが高速道路から沿岸部へのルート確保で、**迅速な復旧・復興が可能に！**

リニア三重県駅開業を見据えた道路整備

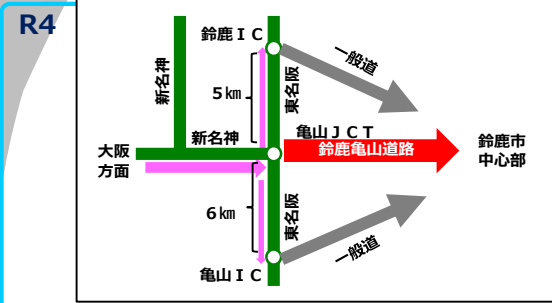
**R7** ■ 調査設計の推進  
・令和7年 埋文調査、用地買収に着手予定

**R6** 現在の取組内容  
■ 調査設計の推進  
・令和6年 引き続き、用地測量、予備設計を実施

**R5** ■ 事業推進体制の強化  
・令和5年4月から建設事務所に「鈴鹿亀山道路課」と「鈴鹿亀山道路用地課」を新設  
・令和5年11月25日 中心杭打ち式

■ 早期整備のための整備手法の検討  
・有料道路事業の活用などの検討など

■ 調査設計の実施  
・令和5年 用地測量、予備設計に着手



■ 事業説明会の開催

令和5年1月31日 鈴鹿市労働福祉会館	令和5年2月1日 亀山市文化会館
------------------------	---------------------

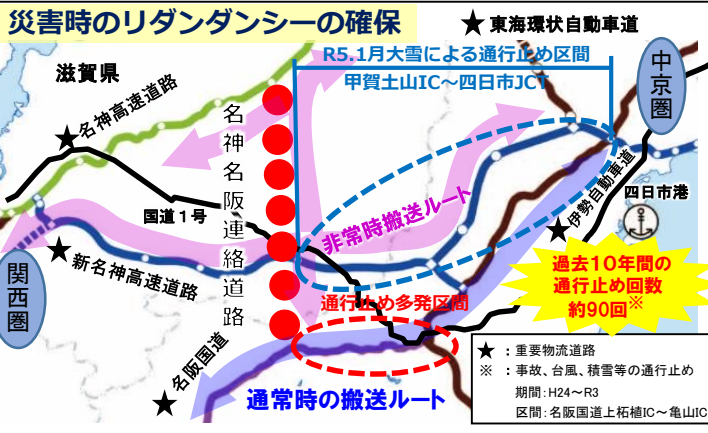
**【課題】 亀山JCT部では、技術的難易度が高い構造物が多い**

<p>■ 亀山JCT部</p> <p>至 亀山西JCT 至 名古屋 至 伊勢 至 鈴鹿</p> <p>供用中高速道路上の施工</p>	<p>■ 交差点部構造(4層構造)</p> <p>鈴鹿亀山道路(本線橋) Dランプ橋 Fランプ橋 Cランプ橋 東名阪自動車道</p> <p>ランパが輻輳する中での難工事</p>	<p>■ 既設との近接(イメージ)</p> <p>既設 新設 分離が狭小</p> <p>近接施工のため難工事</p>
--	--	--

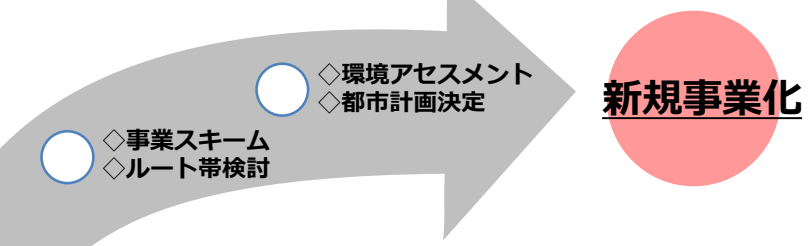
令和4年度 新規事業化 <県管理道路として整備>

# 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進 名神名阪連絡道路の計画の具体化

提言内容 **名神名阪連絡道路**について、**連携してルート帯の決定など計画の具体化**を図ること。

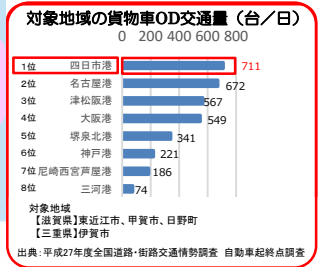
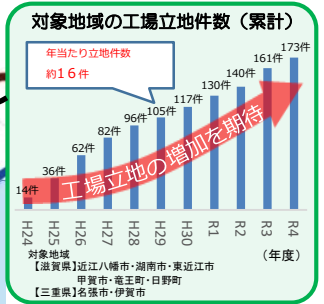
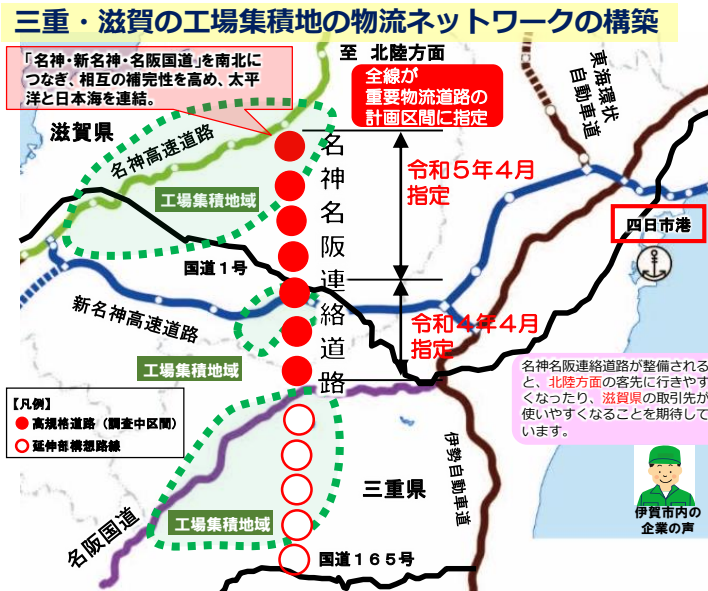


### 新規事業化に向けた取組



- 構想段階PI着手  
令和5年1月~2月  
◇ 住民説明会 三重県・滋賀県で合計6回  
◇ オープンハウス 三重県・滋賀県で合計12回

伊賀で住民説明会  
ルート選定に向け  
意見聴取



### ■ 第1回有識者委員会

令和4年11月16日開催



### <住民説明会>



### <オープンハウス>



### ■ 重要物流道路の計画区間に指定

令和4年4月指定 (国道1号一名阪国道)  
令和5年4月指定 (名神高速一国道1号)

### ■ 名神名阪連絡道路調査推進検討会議 (R3.12)

滋賀国道事務所、北勢国道事務所、滋賀県、三重県

## 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進 交通拠点となる主要駅を中心とする空間整備の推進及び支援

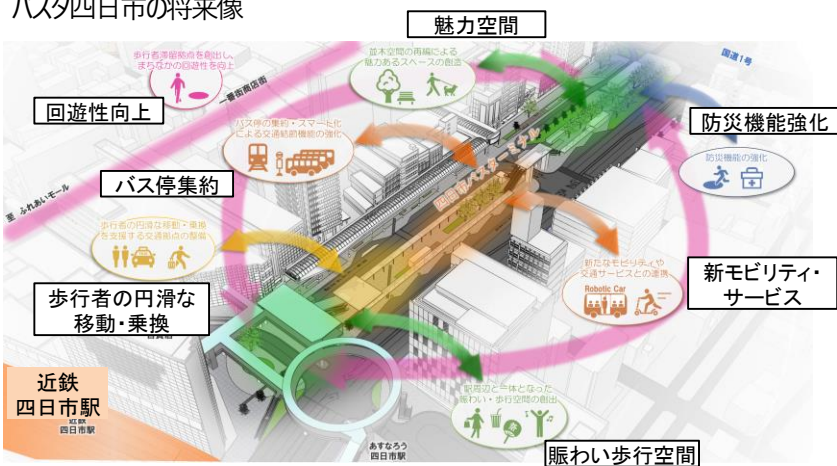
提言  
内容

- 1 豊かで活力のある地域づくりの推進に向け、交通拠点となる **主要駅を中心とする空間整備の推進及び支援**を行うこと。
- 2 **津駅周辺道路空間**については、バスタに関する **整備方針の検討の支援**を行うこと。

### バスタ四日市

2027年リニア東京・名古屋間の開業を見据えてバスタ四日市の**早期整備を!**

バスタ四日市の将来像

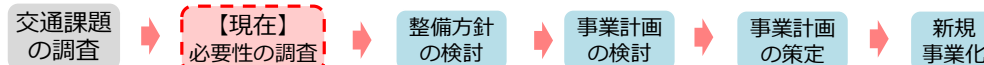


R6.3にE C I方式で工事契約し工事推進中!



### 津駅周辺道路空間再編

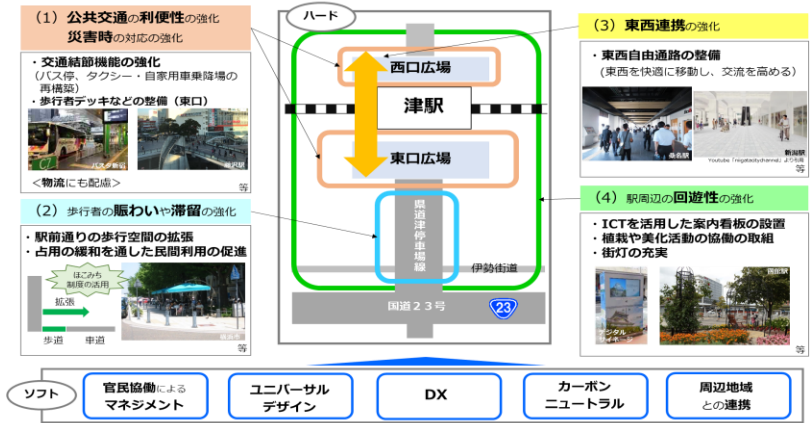
バスタの新規事業化に向け「**整備方針の検討**」への支援を!



#### 津駅周辺道路空間の整備方針

～現在の駅周辺空間が形成されて約半世紀、新たなステージへ!～

地方都市が主役のポストコロナ時代において  
みえ県都の顔となり、地域の活力を引き出し、災害にも強い空間へと再生



※写真はイメージであり整備内容を決定するものではありません。新たな技術や仕組みを積極的に取り込みながら、継続的な進化

- 令和3年度 車線減少に伴う交通への影響を検証するため社会実験を実施
- 令和4年度 賑わいや滞留機能の強化に向けた社会実験を10月に実施
- 令和5年度 賑わいや東西連携・回遊性機能の強化に向けた社会実験を10月に実施

令和5年度賑わいの社会実験  
実施状況 10.11~10.22



## 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進 直轄国道における無電柱化や舗装修繕等の推進

- 提言内容
- 1 **大規模自然災害への備え**として、緊急輸送道路に指定されている**直轄国道の無電柱化を推進**すること。
  - 2 直轄国道において**舗装修繕や道路除草などの維持管理の強化**を行うこと。

### 直轄国道における無電柱化の推進

■設備被害数 2024年3月1日時点  
(北陸電力送配電公表)

令和6年能登半島地震における電柱被害状況

**約3,000本の電柱が倒壊!**

被害内容	被害数
電柱の傾斜	約 2,290本
電柱の折損	約 750本
電線の断線・混線	約 1,680箇所



出典:北陸電力送配電HP 出典:電気事業連合会HP

**電柱倒壊により道路が通行できず救助活動等に支障  
停電が長期化し住民生活に甚大な影響**

緊急輸送道路に指定されている三重県内の直轄国道における無電柱化計画路線 合計56.7km

無電柱化の着実な整備促進により、災害に強い道路へ

**無電柱化により緊急輸送道路の防災性能を向上  
迅速な救援・救助および復旧・復興の実現**

### 直轄国道における舗装修繕の推進

■三重県内と全国の直轄国道における大型車交通量の比較

名阪国道の舗装の損傷状況

R3センサス	24時間平均交通量 (台・方向/日)
三重県平均	2,886
全国平均	1,326

2倍以上!



全国平均の10倍以上!

三重県内の大型車交通量上位箇所

	路線名	箇所	24時間平均交通量 (台・方向/日)
1	一般国道25号(名阪国道)	伊賀市四十九町 地内	13,765
2	一般国道25号(名阪国道)	伊賀市下柘植 地内	13,471
3	一般国道25号(名阪国道)	伊賀市大内 地内	12,712
4	一般国道25号(名阪国道)	伊賀市柘植町 地内	11,956
5	一般国道25号(名阪国道)	伊賀市治田 地内	11,857
6	一般国道25号(名阪国道)	亀山市山下町 地内	11,546
7	一般国道23号	桑名市長島町福吉 地内	10,134

10,000台・方向/日を超える大型車交通量を記録する箇所が一般国道25号(名阪国道)をはじめ三重県内の直轄国道各所に存在

全国平均に比べ大型車交通量が格段に多い箇所が多数あり、舗装の損傷が早く進行

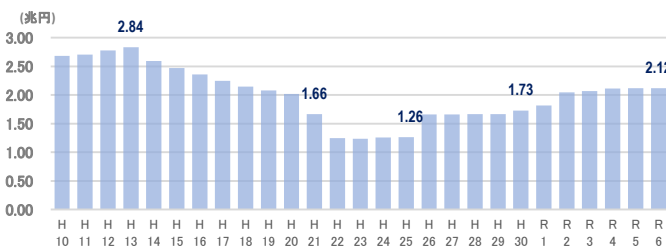
適切な直轄国道の管理のために、**直轄舗装修繕関係予算の適正な配分を**

## 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進 新たな財源の創設、個別補助制度の拡充

- 提言内容
- 1 地方が真に必要とする道路の整備・管理を長期安定的に推進するため、**新たな財源の創設**を行うこと。
  - 2 大規模改築事業、小規模附属物（道路情報板等）の修繕事業について**個別補助制度を適用できるように拡充**すること。

### 新たな財源の創設

#### ○国の道路関係予算の推移(当初)



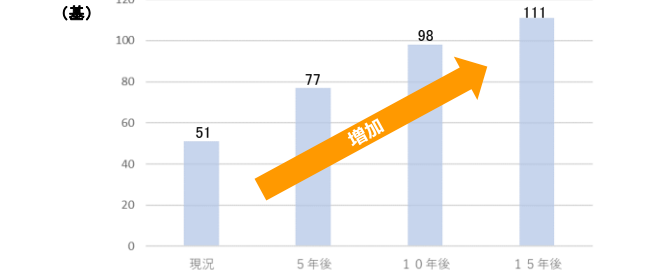
国の道路関係予算は、  
平成13(2001)年度をピークに減少！  
平成22(2010)年度に大きく減少！  
平成26(2014)年度以降は微増しているが、以前の予算額までは回復していない！

#### ○三重県管理道路の改良状況



改良済延長の伸び率は平成20(2008)年度までは1.10倍であったが、平成21(2009)年度以降は1.03倍と鈍化している！

#### ○設置後15年を超える道路情報板の推移



設置後15年を超える道路情報板が増加。このため、道路情報板の維持管理・更新を計画的に進めていく必要がある

新たな財源の創設による道路の整備・管理の推進を！

### 個別補助制度の拡充

#### ○大規模改築事業



国道260号  
東宮河内工区  
防災安全交付金  
事業延長 **1.8km**  
全体事業費 **約37億円**



国道422号  
下地志子工区  
社会資本整備総合交付金  
事業延長 **1.8km**  
全体事業費 **約32億円**

大規模改築事業を計画的に進めるために、個別補助事業が必要

#### ○小規模附属物の更新・修繕

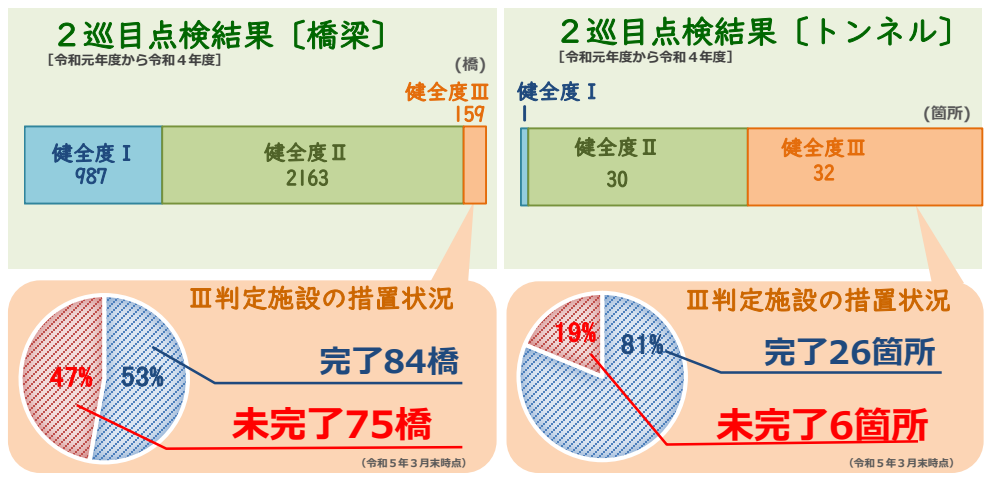


小規模附属物を計画的に維持管理・更新するため、個別補助制度拡充が必要

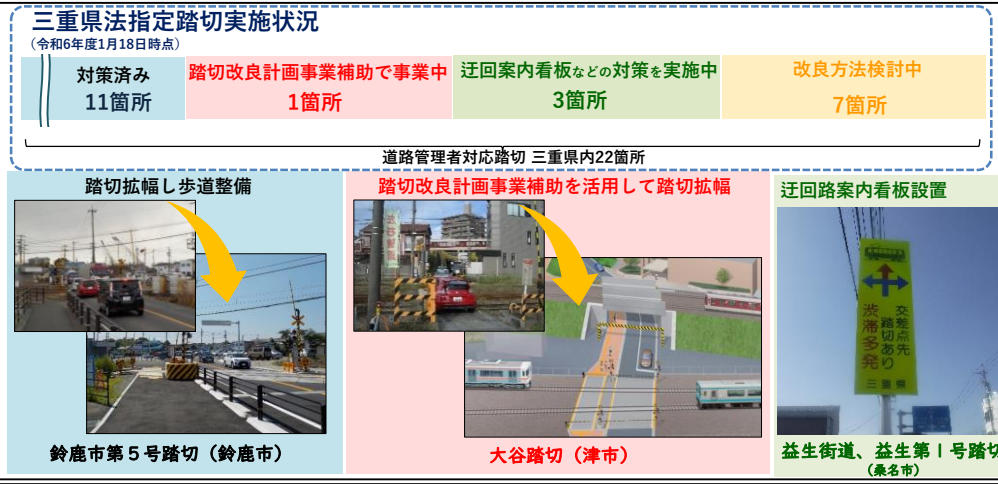
# 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進 道路整備に係る個別補助事業推進への支援

- 提言内容**
- 地域の課題解決に向け、「**道路メンテナンス事業補助**」「**踏切道改良計画事業補助**」「**土砂災害対策道路事業補助**」の推進に必要な**予算を確保**すること。
  - 「**土砂災害対策道路事業補助**」について、砂防事業との連携に限らず実施できるよう、**採択要件を緩和**すること。

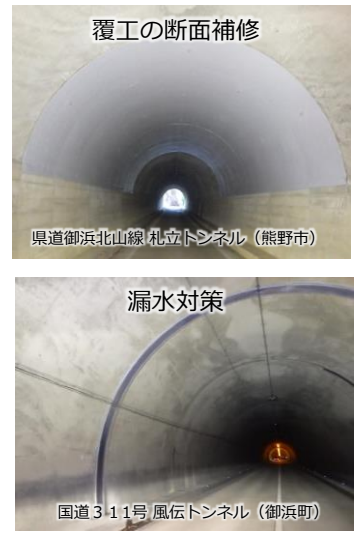
## 道路メンテナンス事業補助



## 踏切道改良計画事業補助



## 土砂災害対策道路事業補助



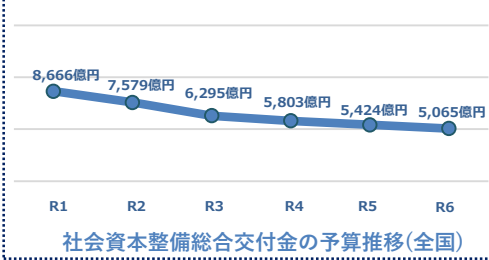
# 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進 県管理道路の整備推進への支援

提言  
内容

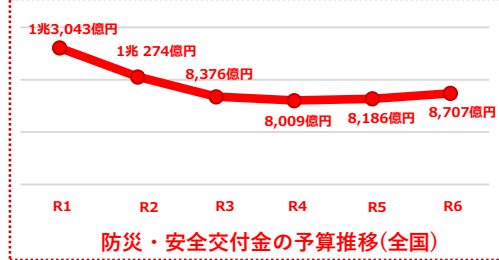
- 1 地方創生や地域の防災・減災、安全に資する道路整備に必要な**社会資本整備総合交付金事業**および**防災・安全交付金事業**に必要な**予算を確保**すること。
- 2 能登半島地震の被災状況を踏まえ、災害時の集落孤立化防止に寄与する**道路法面・盛土の土砂災害対策**を**重点的に推進**するために必要な**予算を確保**すること。
- 3 緊急輸送道路など**防災上重要な道路における舗装修繕**を**推進**するために必要な**予算を確保**すること。

## 交付金事業活用による道路事業の推進

**社会資本整備総合交付金**  
自由度が高く、創意工夫を活かせる  
総合的な交付金



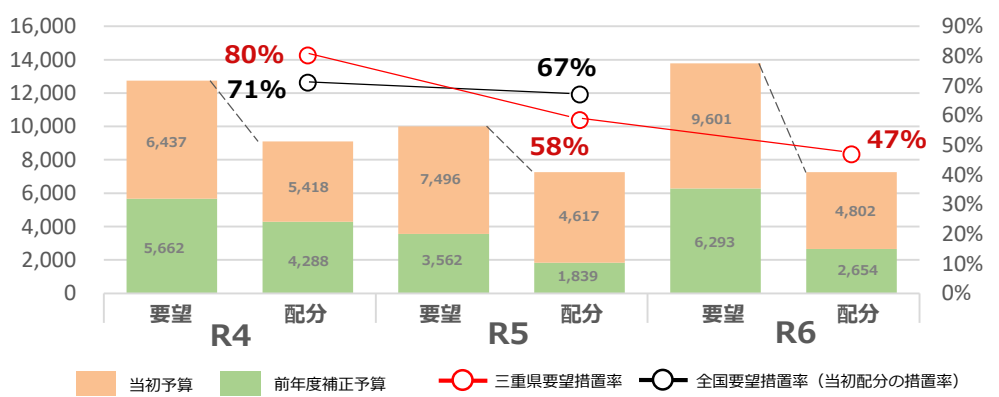
**防災・安全交付金**  
老朽化対策、事前防災減災対策、生活空間の  
安全確保の取組を集中的に支援



県内31箇所の道路事業で活用

県内33箇所の道路事業で活用

## ～社会資本整備総合交付金および防災・安全交付金の現状～



⇒ **社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金の所要額確保が必要**

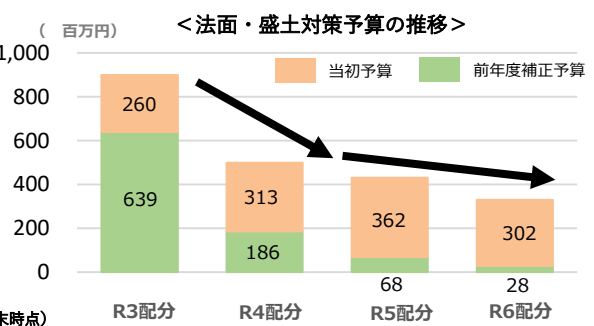
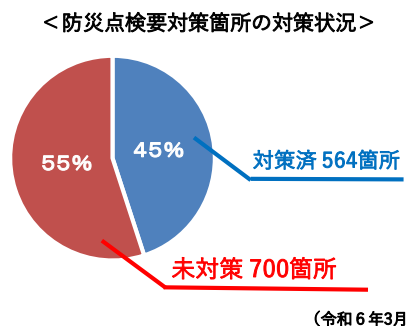
## 法面・盛土の土砂災害対策の推進

能登半島地震では、複数の土砂災害により道路が寸断され、多数の孤立集落が発生した

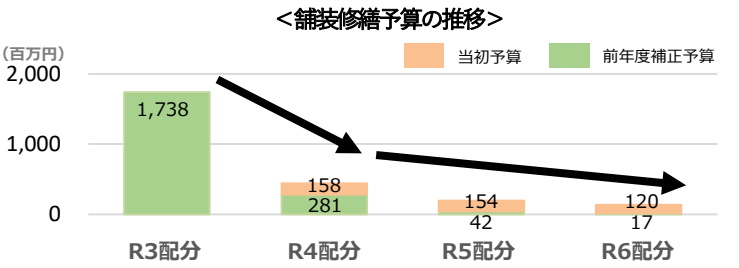


国道249号沿岸部の大規模土砂崩れ

三重県でも南海トラフ地震により土砂災害による孤立集落の発生が懸念され、更なる**法面・盛土の土砂災害対策の予算確保が必要**



## 防災上重要な道路における舗装修繕の推進



⇒ **安全・安心な通行が図れるよう、舗装修繕の予算確保が必要**



# 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進 通学路の交通安全対策推進への支援

提言  
内容 **通学路の交通安全対策**を推進するために必要な**予算を確保**すること。

## 通学路交通安全プログラムに基づく交通安全対策

通学路交通安全プログラムに基づく対策箇所について、「個別補助事業」や「防災・安全交付金」を活用し、P D C Aサイクルで継続的に対策を推進中

都道府県別交通事故死者数 (R5.1~12月)

(ワースト) 順位	都道府県名	人口10万人当たり死者数(人)
1位	徳島県	3.98
<b>2位</b>	<b>三重県</b>	<b>3.79</b>
3位	青森県	3.74
4位	山梨県	3.62
5位	香川県	3.53
6位	秋田県	3.44
7位	和歌山県	3.43
8位	高知県	3.40
9位	島根県	3.34
10位	愛媛県	3.29
<b>全国平均</b>		<b>2.14</b>

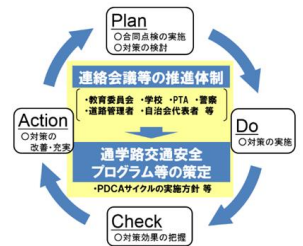
令和5年1月~12月における三重県内での交通事故死者数は66人。人口10万人当たりの死者数は3.79人で、**全国ワースト2位** (前年同期は、3.42人で、**全国ワースト7位**)

**交通安全対策が重要!**

歩道整備



速効対策 (ラバーボール)



- ▶ 関係者と連携し、PDCAサイクルを継続的に実施
- ▶ 新たに抽出される対策箇所についても着実に対策を実施

通学路交通安全プログラムに基づく対策箇所に、速効対策等も講じながらスピード感をもって進めている。

## 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進 交通マネジメント・メンテナンスのDXへの支援

提言内容 地方自治体がAIカメラをはじめとする**道路のDXを加速できるよう**、国からの**技術的・財政的な支援を拡充**すること。

### 交通マネジメントのDXへの支援

#### R5(2023)3月 道路DX中期計画ver.2 (カメラ活用方針) の策定

的確・迅速な  
情報発信

安全・円滑な交通の支援

道路状況をドライバーへ共有

道路管理の  
強化・効率化

道路冠水対策

冠水状況を確認し迅速な対応

道路空間再編、  
渋滞・事故対策への活用

渋滞・事故対策

交通状況のモニタリング・分析

#### R4(2022)年3月 道路DX中期計画ver.1 (カメラ設置方針) の策定

R4(2022)年度～

平常時・災害時の重なる箇所に優先的に拡充  
100基設置(交付金活用)※既設・民間カメラ含む

R3(2021)年度～

AIカメラによる常時観測システムを運用開始  
交付金により県内主要道路10箇所設置 都道府県で全国初!

### メンテナンスのDXへの支援

① AI路面標示劣化検知システム

車載カメラ  
GPS撮影

AIによる  
劣化判定

路面状況の  
データベース化  
(帳票・地図表示)

R4(2022)年度 システムの実証試験開始  
R5(2023)年度 システムの本運用開始

↓ 連携 ↓

② 路面振動検知システム

スマートフォンアプリを利用した路面振動検知システムの導入検討

路面状況の自動判定、データベース化

凡例：振動レベル  
強い ← → 弱い

③ LPデータを活用した潜在的危険箇所の把握

落石発生源、崩壊、地すべり等、災害要因を比較的容易に抽出可能

危険箇所の把握

対策の実施

災害の未然防止

メンテナンスのデジタル化により、道路管理の強化・効率化

# 2 安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク・拠点整備の推進 ナショナルサイクルルート・GXへの支援

- 提言内容
- 1 **ナショナルサイクルルートの環境整備**を推進するため、必要な**予算の支援と拡充**及び、**直轄国道**での取組を推進すること。
  - 2 **トンネル照明のLED化**を推進するため、必要な**予算の確保**を図ること。

### ナショナルサイクルルートの環境整備の推進

太平洋岸自転車道 (Pacific Cycling Road)  
 ●延長: 1,487 km (うち 三重県内延長 300 km)  
 ●起終点  
 千葉県銚子市J R銚子駅 ~ 和歌山県和歌山市加太港  
 ※三重県内起終点  
 鳥羽市鳥羽港 ~ 南牟婁郡紀宝町新熊野大橋

太平洋岸自転車道マップ (国HPより)

サイクルステーション (交付金対象外)

サイクルステーション設置事例【R5. 8. 10供用開始】  
(県道鳥羽阿児線 (パールロード))

舗装修繕・防草対策 (交付金対象外)  
安全な走行空間が確保できる

景観整備 (交付金対象外)  
樹木を伐採すれば海が眺望できる

路肩拡幅 (交付金対象)

案内看板整備 (交付金対象)

公式SNS (動画) でルートを紹介

**予算の支援を！**

### トンネル照明のLED化の推進

県管理トンネル  
 総延長L=56,115m

LED化実施済延長 L=30,124m	LED化未実施延長 L=26,031m
------------------------	------------------------

54% 100%

※照明灯を有するトンネル延長

令和5年度末時点

トンネル照明のLED化によるCO<sub>2</sub>排出量の削減目標

年度	CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	削減率
H30	1590	-
R5	1072	33%削減
LED化完了 R14年度	680	57%削減

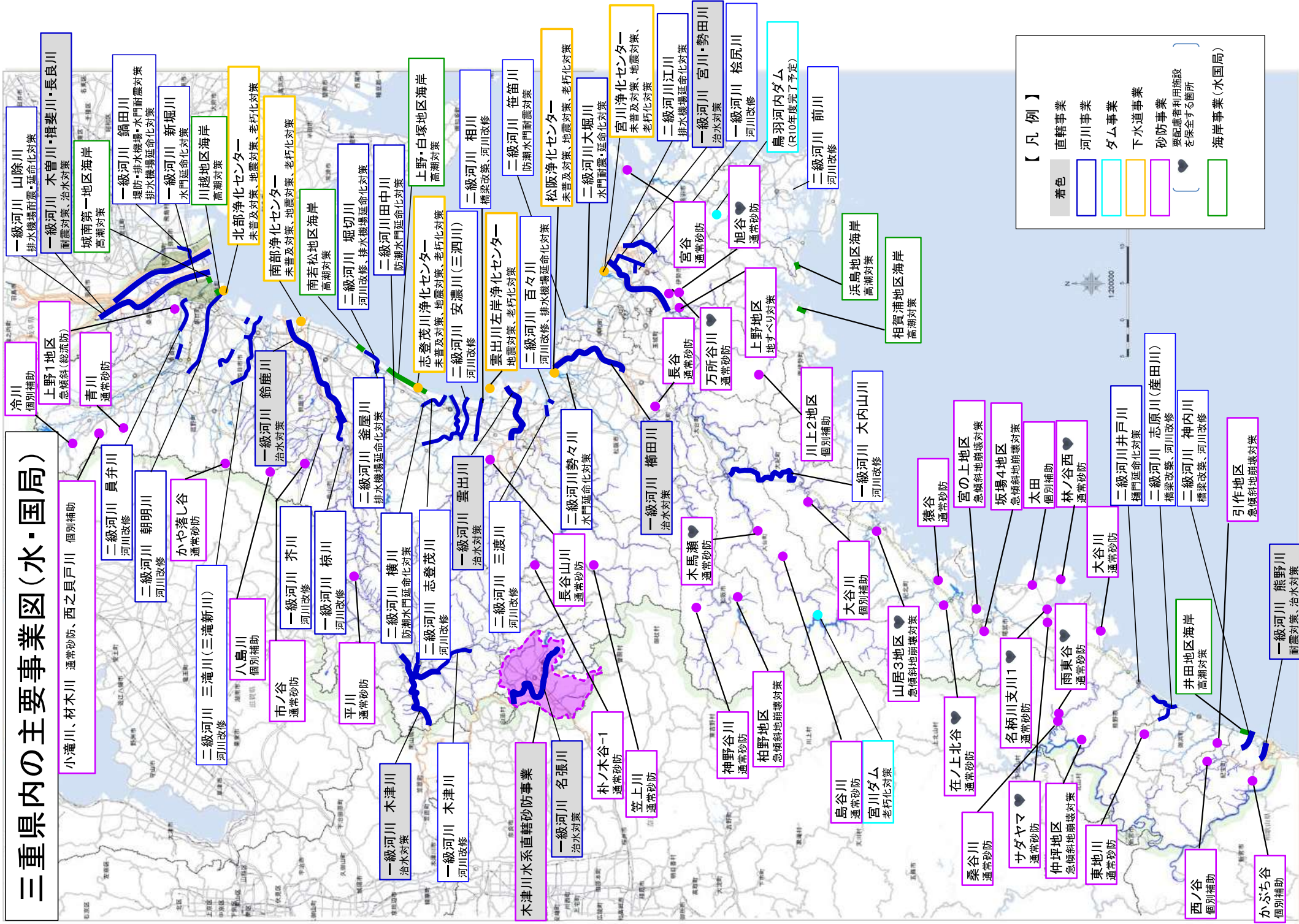
ナトリウム灯照明

トンネル照明のLED化

※: トンネル照明のLED化は平成30 (2018) 年度から実施

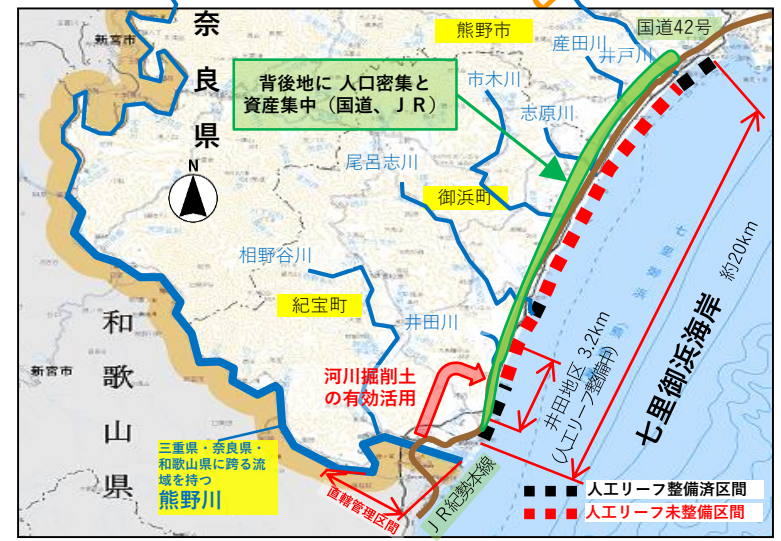
・脱炭素社会の実現に向け、トンネル照明のLED化を計画的に進めるため、**予算の確保を！**

# 三重県内の主要事業図(水・国局)



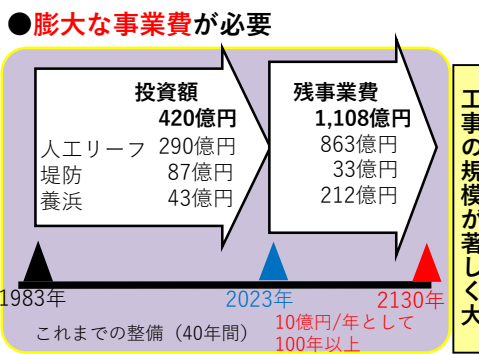
### 3 災害に強い県土づくりのための流域治水の推進 七里御浜海岸における侵食対策

- 提言内容
- 1 **七里御浜海岸**の長期にわたる安全・安心を早期に確保するため、整備を**直轄事業化**すること。
  - 2 効果的な海岸侵食対策の方向性を定めるため、**技術的な支援を継続**して行うこと。
  - 3 **七里御浜海岸**への土砂供給の体制を確立するため、**熊野川の総合土砂管理計画（行動計画）を早期に作成**すること。



七里御浜海岸の課題

- 砂浜の侵食により、越波が増大し、背後地の安全性が低下
- 被災リスクが増加  
平成以降に7度も被災



R4	港湾施設の配置変更、抜本的な沖合移設等の対策、サンドバイパス、サンドリサイクル等の検討 <b>勉強会4回開催</b>
R5~6	港湾の影響、土砂の供給・移動の機構（シミュレーション）を踏まえたより効果的な侵食対策施設の検討 R5.12 <b>第5回勉強会開催</b> R6.2 <b>学識者ヒアリング</b>
R6~	整備の実現性について関係機関と協議（予定）

高度な知識  
技術的な支援が必要

総合土砂管理の取り組み	
R4.3	新宮川水系（熊野川）河川整備計画策定 総合的な土砂管理が盛り込まれる
R5.7	総合土砂管理専門部会設置 （熊野川の総合的な治水対策協議会内）
R6.1	第1回総合土砂管理専門部会開催

持続可能な海岸侵食の抑制  
熊野川の総合土砂管理計画（行動計画）の早期策定が必要

直轄事業の要件を満たしている（海岸法第六条）

海岸の長期にわたる安全・安心を早期に確保するため、**直轄事業化**が必要

### 3 災害に強い県土づくりのための流域治水の推進

## とばこうち 鳥羽河内ダム建設の推進への支援

提  
言  
内  
容

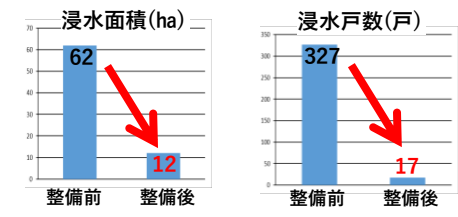
**鳥羽河内ダム（県管理）**の令和10（2028）年度完成に向けて、**必要な予算を確保**すること。

### 鳥羽河内ダム建設事業

令和10(2028)年度の完成に向けて事業推進中（全体事業費195億円）



### <目標> 治水安全度の向上



**鳥羽河内ダムの完成により  
治水安全度が大きく向上！  
地域の浸水被害を軽減！！**

### <背景> 頻発化・激甚化する豪雨災害



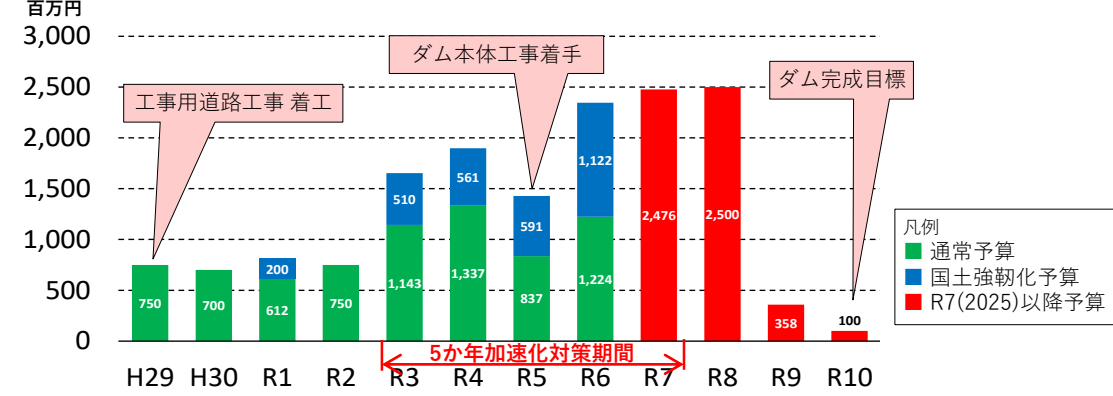
- 平成27(2015)年9月9日の台風第18号では床下浸水8戸、床上浸水1戸の被害
- 令和5(2023)年6月2日鳥羽市で過去最高の481mm/日の記録的大雨発生 鳥羽河内川流域でも数年に1回、浸水被害が発生

### <取組状況> 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策を推進

- 5か年加速化対策にダム建設事業が位置付けられ、国土強靱化予算が補正予算により措置された。令和5(2023)年10月に本体工事に着手し、令和10(2028)年度の完成に向けて取り組んでいく

### <課題> ポスト「5か年加速化対策」のための予算の確保

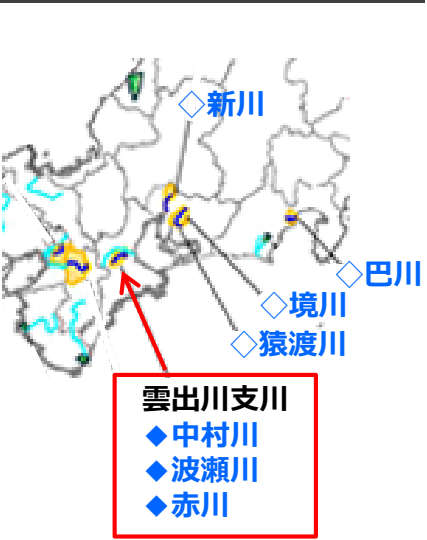
- 令和7(2025)年度以降、ダム本体工事に約50億円が必要
  - 5か年加速化対策期間後にダム本体工事の事業費がピークを迎えるため、引き続き国土強靱化対策による予算確保が必要



### 3 災害に強い県土づくりのための流域治水の推進 雲出川 直轄河川改修事業の推進

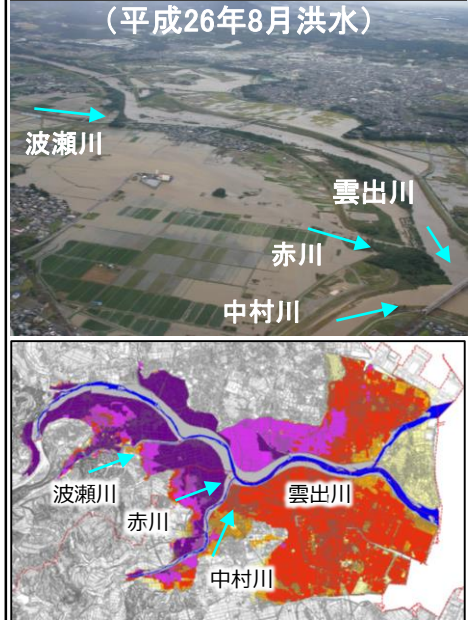
提言内容 特定都市河川の指定による **流域治水整備事業** を活用して、**雲出川本川及び支川** の **河川改修を加速化** すること。

#### 特定都市河川の指定



- 令和5(2023)年3月、中村川とその支川、赤川、波瀬川を特定都市河川・特定都市河川流域に指定
- 令和3年の法改正以降中部地方整備局管内で初の指定

#### 洪水時の浸水状況

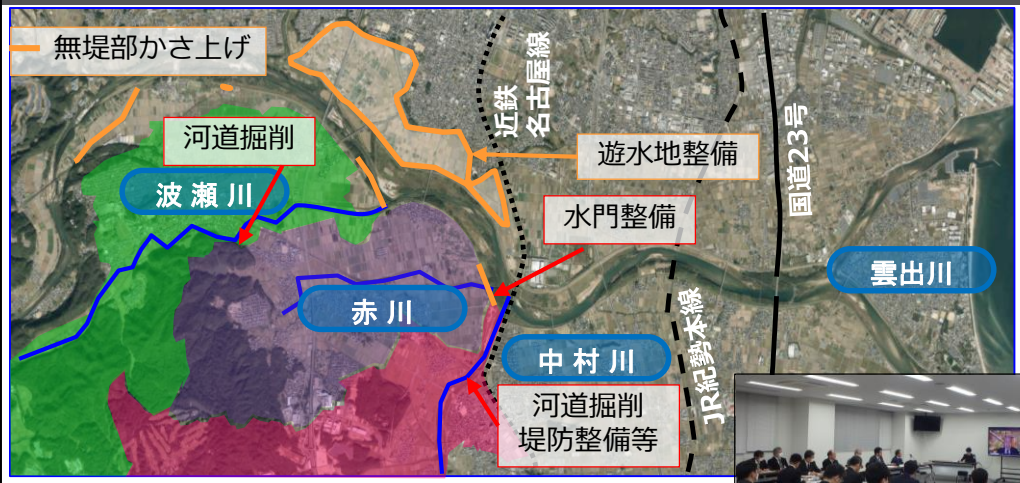


国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

#### 【現状】

- 雲出川の中流部は無堤部が多く存在し、近年でも **毎年のように浸水被害が発生**
- 特に平成26年は家屋浸水が発生

#### 雲出川中流部及び支川中村川波瀬川の整備箇所



- 令和6(2024)年3月 第2回流域水害対策協議会を開催



協議会の開催状況

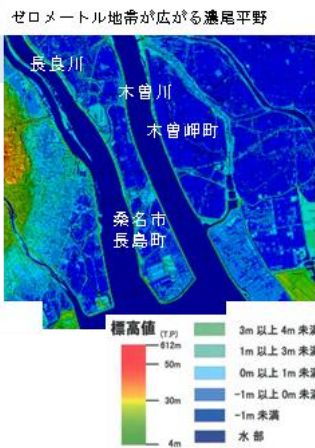
#### 【課題等】

- 家屋浸水被害を解消するため、雲出川中流部及び支川の中村川、波瀬川において整備を流域治水整備事業を活用し、水門及び遊水地等の整備の加速化が必要！**
- 水害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくりの推進に向けて、地域住民への啓発が必要！
- 浸水被害防止区域及び貯留機能保全区域の指定については、土地利用規制が伴うため、関係者との十分な調整及び周知期間が必要！

### 3 災害に強い県土づくりのための流域治水の推進 木曾三川・鈴鹿川・櫛田川・宮川・勢田川 直轄河川改修事業の推進

提言内容 **木曾三川および鈴鹿川・櫛田川・宮川・勢田川**の直轄河川改修事業について、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を重点的・集中的に講じ、**事前防災対策を加速化**すること。

#### 木曾三川 (木曾川、長良川、揖斐川)



- 【現状】**
- 国内最大の**海拔ゼロメートル地帯**
  - **観光施設や生産拠点が多数立地**
  - 国土強靱化計画による耐震対策を実施中

- 【課題等】**
- 南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率は、70~80%!
  - 堤防が沈下すれば、津波等による浸水は広範囲かつ長時間に及び**我が国の社会経済への影響は甚大**
  - 切迫する南海トラフ地震に備え、**堤防耐震対策のさらなる推進が必要**



#### 宮川水系勢田川

- 【現状】**
- 平成29(2017)年台風第21号による被害は、甚大  
死者1名  
床上浸水409棟  
床下浸水670棟
  - 勢田川流域等浸水対策実行計画策定(H30.6.19)
  - 桧尻川排水機場ポンプ増強工事に着手 (R4.6)
- 【課題等】**
- 桧尻川流域の浸水被害を軽減するため**「桧尻川排水機場ポンプ増強工事」の早期完成を!**



#### 鈴鹿川・櫛田川・宮川

- 【現状】**
- 鈴鹿川水系は、国内有数の石油JLバート等を有する産業集積地
  - 櫛田川水系は農業基盤集積地
  - 櫛田川水系・宮川水系は斎宮跡・伊勢神宮等歴史遺産が数多く存在
  - **人口約75万人(県内の44%)、製造品出荷額約5.9兆円(県内の55%)**
- 【課題等】**
- 被害を軽減するため、**治水対策(河道掘削・堤防整備等)のさらなる推進が必要!**



### 3 災害に強い県土づくりのための流域治水の推進 熊野川 直轄河川改修事業および濁水対策の推進

提言  
内容

- 1 **熊野川**の直轄河川改修事業について、河川整備計画に基づき**河道掘削等の推進**を図ること。
- 2 総合土砂管理専門部会において、**七里御浜海岸域も含めた持続可能な土砂管理にかかる熊野川の「総合土砂管理計画（行動計画）」を早期作成**すること。
- 3 熊野川の総合的な治水対策協議会において、**既存ダム等の洪水調節機能強化による洪水軽減対策を進めるとともに、濁水の長期化を抑制する取組を推進**すること。

#### 治水対策・総合土砂管理の推進

現状

##### 気候変動の影響により水災害が頻発化・激甚化

平成23年紀伊半島大水害で熊野川で計画を大きく上回る24,000m<sup>3</sup>/sの洪水により、甚大な浸水被害が発生！

令和元(2019)年の台風第10号及び令和5(2023)年の台風7号では相野谷川(高岡地区)で計画高水位超過！

令和3(2021)年度に気候変動の影響をふまえた河川整備基本方針・河川整備計画を策定

平成23年紀伊半島大水害



令和元(2019)年台風第10号



基本高水流量の変更  
19,000m<sup>3</sup>/s → 24,000m<sup>3</sup>/s

取組内容

- 整備計画に基づいた**河道掘削**
- 熊野川の総合的な治水対策協議会において、整備計画に基づく**持続可能かつ総合的な土砂管理を実現するための「総合土砂管理専門部会」**を令和6年1月に開催

課題

- 河川整備計画の河道目標流量に対し、流下能力が不足しており、河道掘削による流下断面の増大が必要
- **河口部河道掘削の一層の推進が必要！**
- 総合土砂管理の取組として、河口の河道掘削、七里御浜養浜事業と連携した持続可能な土砂管理にかかる熊野川の「総合土砂管理計画（行動計画）」の**早期作成が必要！**

河口部の河道掘削箇所



#### 既存ダム等の洪水調節機能強化による洪水軽減対策

現状

- 治水協定(令和2年5月)の締結により、既存ダムにおいて事前放流による容量確保が可能となり、さらなる治水効果が見込まれる。

課題

- 既存ダム等の洪水調節機能の強化がより一層求められており、**効果的な運用、予測精度の向上、操作方法の変更及びダム施設の改造等により、洪水軽減対策の取組を推進！**

#### 濁水対策の推進

現状

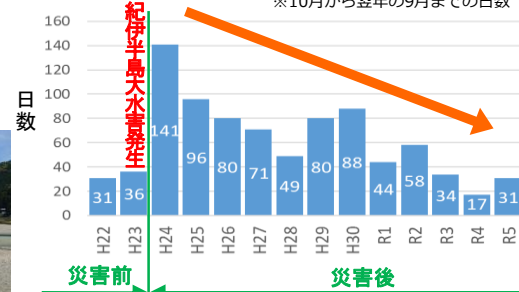
- **熊野川の総合的な治水対策協議会**において関係者が連携して、濁水の発生を抑制する対策を実施中
  - ①崩壊地対策と河道への土砂流出防止 (国交省、林野庁、三重県、奈良県、和歌山県)
  - ②河道内堆積土砂撤去 (国交省、三重県、奈良県、和歌山県、電源開発株)
  - ③ダムの取水設備改造、濁水フェンス設置、運用変更 (電源開発株)

課題

- 目安の濁度20以上の日数は災害前まで減少したが、**引き続き注視が必要**
- 現状の濁水対策に加え、**清水の流下により濁水が希釈されるよう、ダムの河川維持流量の弾力的な調節が必要！**



濁度20以上の日数(熊野川右岸南松杖)  
※10月から翌年の9月までの日数



# 3 災害に強い県土づくりのための流域治水の推進 木津川・名張川 直轄河川改修事業の推進

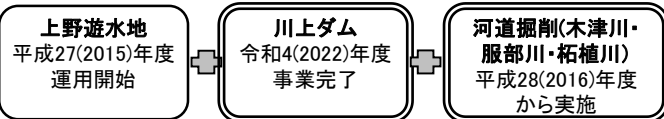
提言  
内容

**木津川・服部川・柘植川および名張川**の直轄河川改修事業について、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を重点的・集中的に講じ、**事前防災対策を加速化**すること。

## 川上ダム・木津川上流直轄河川事業

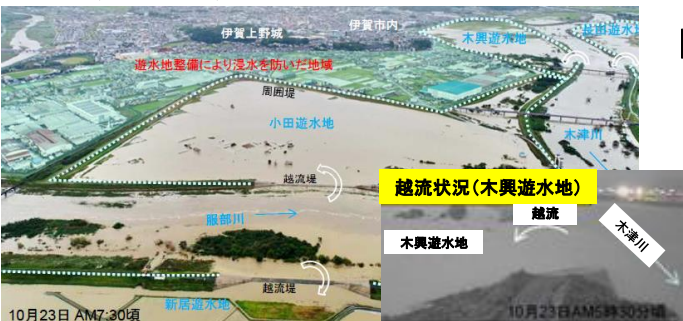
### 【現状】

■ 3点セットで「治水安全度の向上」を図る



### 【上野遊水地の効果】

■ 平成29年10月の台風21号による洪水では、上野地区において約160haの浸水面積、約760戸の浸水戸数の被害を解消!



### 【川上ダムの取組】

■ 令和5(2023)年4月から管理に移行



### 【川上ダムの課題】

■ **試験湛水でも本運用と同等の効果的な運用を!**

### 【木津川等河川の取組】

■ 河道掘削・引堤の推進

服部川河道掘削 三田地区



浅子川水門 新設



### 【木津川等河川の課題】

- 令和3年8月に策定された淀川水系河川整備計画(変更)に基づき、気候変動の影響等を踏まえたさらなる河川整備が必要!
- **さらなる治水安全度向上のため、木津川・服部川・柘植川の河道掘削および服部川(三田地区)における引堤の推進を!**

## 名張川直轄河川事業改修

### 【現状】

■ 名張かわまちづくり一体型浸水対策事業(I期)の推進



### 【効果】

■ 令和元年東日本台風では、河道掘削・樹木伐採の実施により、**約0.4mの水位低減効果**を発揮し、溢水を回避!

黒田橋 架替工事



### 【課題】

- 上流ダム群(青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダム)が本来有している洪水調節機能を発揮させるには、名張川の事業推進が必要!  
(事業進捗率 約68%(令和5年度末))
- **さらなる治水安全度向上のため、川を生かした地域づくりの核となる名張川の引堤・河道掘削の推進を!**

# 3 災害に強い県土づくりのための流域治水の推進 木津川水系直轄砂防事業の推進

提言内容 **木津川水系直轄砂防事業**について、住民の安全と交通機能確保のため**事業推進**を図ること。



実施箇所図 (谷出地区・坂之下地区：9箇所)

**整備すべき渓流は、まだ残っており、引き続き整備が必要！**



**木津川水系直轄砂防事業の中期計画**

平成28年から令和27年までに  
**43基の砂防堰堤の整備を計画**  
(奈良・三重両県分)

**三重県分 13基**  
(谷出地区・坂之下地区：9基 その他地区：4基)  
(令和5年度時点、3基完成)

**砂防事業推進により**

- ★人口8万人を擁す名張市の市街地
- ★大阪・奈良・三重を結ぶ、**国道165号** (交通量約2万台/日)
- 近鉄大阪線** (名張駅乗降者約1万2千人/日)

が土砂災害と氾濫から守られ、**住民と重要な交通基盤と利用者の安全が確保**できます。

凡例	
砂防堰堤	区域
黒線	土砂災害警戒区域
赤線	土砂災害特別警戒区域
緑線	
茶線	
...	
...	
...	
...	



**事業の強力な推進と早期完成を！**

### 3 災害に強い県土づくりのための流域治水の推進 流域治水の取組の推進への支援

提 言  内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 流域治水プロジェクトに位置付けた治水対策を推進するため、<b>予算を重点的に配分</b>すること。</li> <li>2 流域治水プロジェクトに位置付けた河川管理者以外の取組を推進するため、<b>財政支援制度を創設</b>すること。</li> <li>3 一級河川において、より効果的な<b>事前放流に向けた検証と運用改善</b>を関係機関で<b>連携して推進</b>すること。</li> <li>4 市町が取り組む<b>下水道事業による集中的な浸水対策</b>に必要な<b>財政支援</b>を行うこと。</li> </ol>
----------------------	--

#### あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の本格的実践

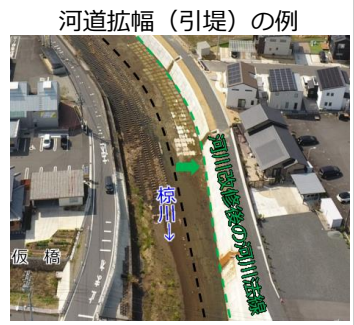
#### 1. 治水対策予算の重点的な配分

【現状】

- 流域治水の取組を支援するための予算が十分に確保できず、取組を強かに推進することが困難
  - ・本川の水位低下に大きく寄与する河道拡幅（引堤）や河道掘削が進まない

【課題等】

- **流域治水プロジェクトに位置付けた治水対策を強かに推進するため、予算の更なる重点配分が必要！**



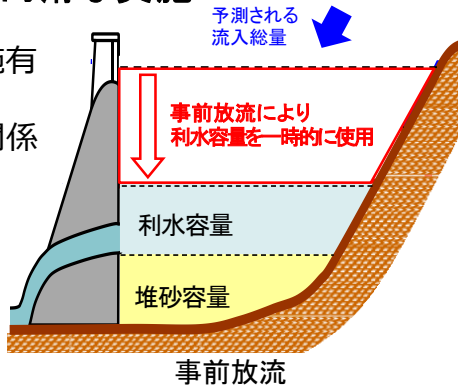
#### 3. 一級河川における事前放流の円滑な実施

【現状】

- 雨量予測に基づいて事前放流の実施有無を判断
- 容量を最大限活用するには、利水関係者との十分な調整が必要

【課題等】

- ダム洪水調節機能協議会を通じて利水ダムの能力等の理解を深め**より効果的な事前放流に向けた検証と運用改善が必要！**



#### 2. 河川管理者以外の取組への財政支援制度の創設

【現状】

- 河川管理者以外が行う取組については、施行者にメリットが少ないため、取組を展開していくことが困難
  - ・田んぼダムは**治水効果がある**ものの、施行者にメリットが少ないため、取組が進まない
  - （例：田んぼダムへの支援額：1000m2当り400円）

【課題等】

- **流域治水プロジェクトに位置付けた河川管理者以外が実施する治水効果のある取組について財政支援ができる制度が必要！**



#### 4. 下水道事業による集中的な浸水対策への財政支援

【現状】

- 令和5年6月2日に発生した線状降水帯により、伊勢市内で浸水被害が発生
- 近年、各地で局地的な大雨等が多発
- 県内10市町が河川管理者と連携し、下水道事業による浸水対策を実施中

【課題等】

- 浸水対策を強かに進めるためには、**引き続き財政支援が必要！**



### 3 災害に強い県土づくりのための流域治水の推進 気候変動を踏まえた治水計画の見直しへの支援

- 提言内容
- 1 河川整備基本方針・河川整備計画の見直しに係る業務を **社会資本整備総合交付金制度の対象** とすること。
  - 2 海岸保全基本計画の変更について **技術支援** を行うこと。

## 気候変動を踏まえた河川整備計画等の見直しの推進

### 1 河川整備基本方針・河川整備計画の見直し

#### 【現状】

■ 優先的に河川整備計画の見直しを行う6河川を選定

- ・員弁川
- ・海蔵川
- ・三滝川
- ・安濃川
- ・岩田川
- ・三渡川

■ 河川整備計画の見直しに係る業務は **交付金制度の対象外**

#### 【課題等】

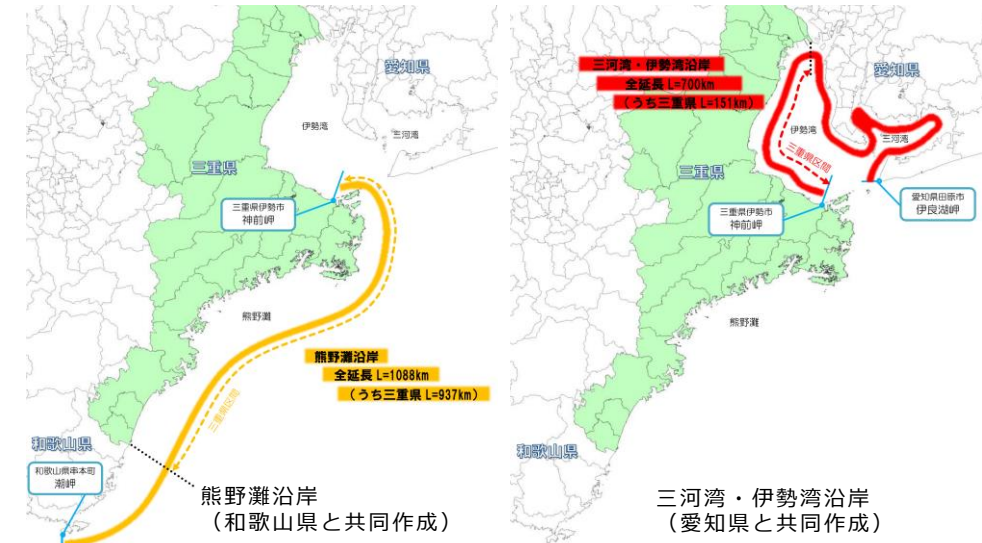
■ 気候変動の影響を踏まえ、河川整備計画の見直しに係る業務を **交付金制度の対象に!**

■ 気候変動を踏まえた治水計画の見直しの手法について **技術支援が必要**



- 熊野灘
- 一級河川 (指定区間外) ※大臣管理区間
  - 一級河川 (指定区間) ※県管理区間
  - 二級河川 (主な河川)

### 2 海岸保全基本計画の変更



■ 令和3(2021)年度の新規制度で交付金で支援する制度が設立された

#### 【課題等】

- 将来的な気候変動を踏まえて設計外力を設定した場合、海岸のほか河川管理施設等、特に県境にまたがる直轄河川には大きな影響を及ぼす
- 3県にまたがる設定となることから、**設計外力の算定について技術支援が必要**

### 3 災害に強い県土づくりのための流域治水の推進

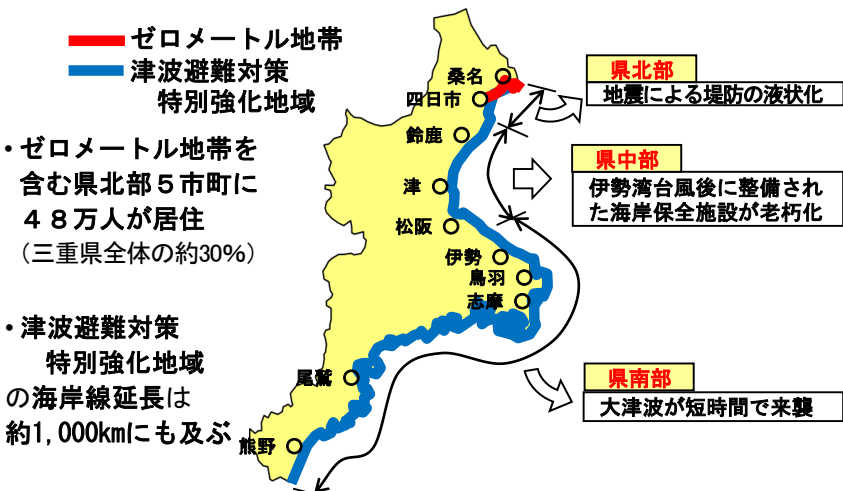
## 緊急性の高い河川・海岸堤防や水門・樋門などの地震・津波対策の推進への支援

**提言内容** 能登半島地震の液状化等による被害を踏まえ、南海トラフ地震による被災リスクの高い「ゼロメートル地帯」や「津波避難対策特別強化地域」などにおいて、緊急性の高い河川・海岸堤防や水門・樋門などの地震・津波対策を加速化させるための**予算を確保**すること。

#### 南海トラフ地震に備えた地震・津波対策

三重県の沿岸は、「ゼロメートル地帯」や「津波避難対策特別強化地域」であり、被災リスクが非常に高い

●南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率は70～80%



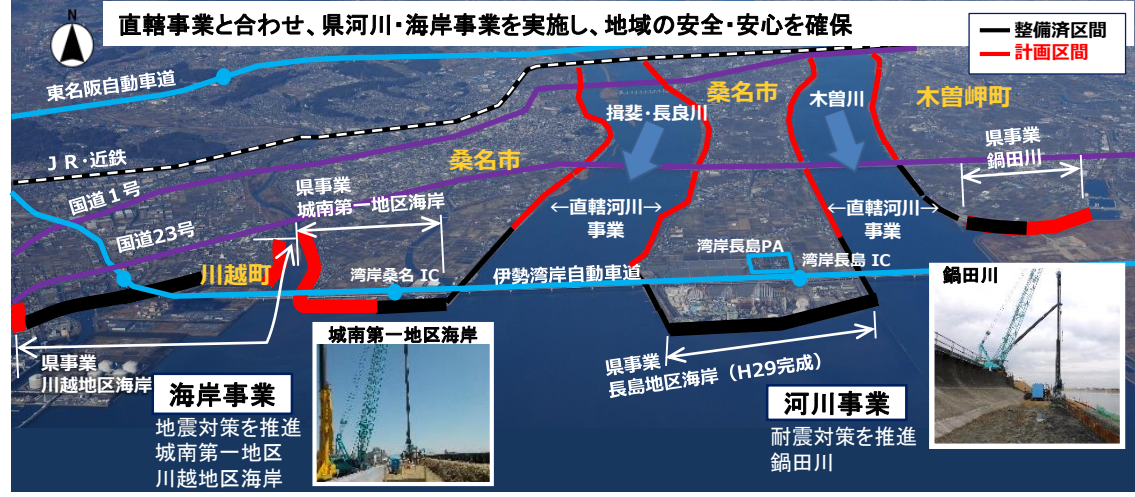
#### 地震・津波対策の予算確保が必要

河川改修や高潮・浸食対策に加えて地震・津波対策を実施するには既存の交付金事業では不十分

高潮浸水被害への関心の高まり

- ・伊勢湾沿岸[三重県区間]の高潮浸水想定区域を指定(令和5(2023)年3月)
- ・想定の結果、11市町において約288km<sup>2</sup>が浸水
- ・堤防背後住民らの関心の高まり

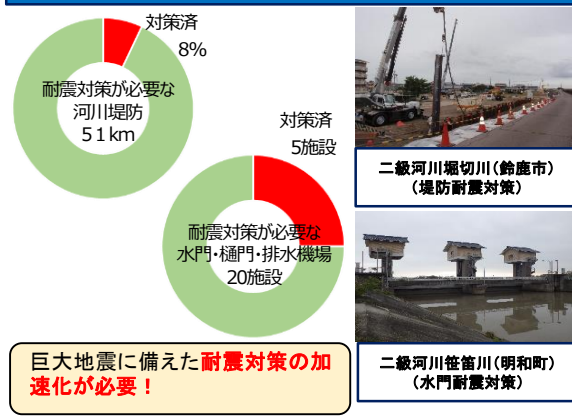
#### 【河川・海岸事業】ゼロメートル地帯における堤防等の地震対策を実施



#### 【海岸事業】短時間で津波が到達する沿岸での津波対策を実施



#### 【河川事業】津波の遡上が想定される河口部にて耐震対策を実施



### 3 災害に強い県土づくりのための流域治水の推進 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等河川DXの推進

提言内容	<p>1 <b>危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの耐久性の向上</b>を図り、更新に係る<b>財政支援制度を創設</b>すること。</p> <p>2 河川管理の効率化・高度化に向け、河川台帳のデジタル化や河川点検の省力化など<b>河川DX</b>に係る<b>財政支援制度を創設</b>すること。</p>
------	--

#### 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ

**【国の取組】**

- 水管理・国土保全局の革新的河川技術プロジェクトにより、**従来品よりコンパクトで安価な危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラを開発**

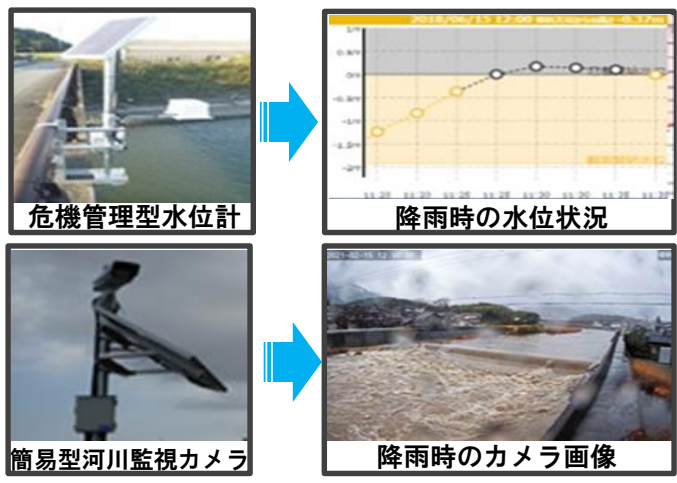
**【現状】**

- 県は、危機管理型水位計216基、簡易型河川監視カメラ73基を設置（R6.4現在）
- 多数の河川を有しているが、ハード整備には長期間を要する状況
- 今後の気候変動も踏まえ、住民への情報提供や管理者等の即時対応を強化する必要がある
- ICTを活用した河川観測体制強化として、令和4年3月に「**河川DX中期計画2022～2026**」を策定

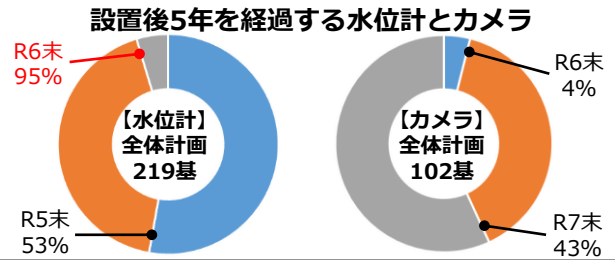
**【課題等】**

- 設置から一定期間が経過したが、更新時期を迎えても**支援する補助メニューが無い**  
⇒ **耐久性の向上を図るとともに、更新を支援する制度が必要**

5年未満で更新した水位計 7基（約3%）



**5年後の目標**  
令和4(2022)年度～令和8(2026)年度  
重点監視箇所への（水位計+カメラ）の設置  
**44箇所 → 102箇所**



#### 河川管理の効率化・高度化



**【現状】**

- 占用物件や河川区域の確認作業は、紙資料では非効率である
- 成果品からの台帳の新規作成も、規定が細部にわたり手間と予算を要する
- 台帳等のデジタル化や河川点検の省力化を支援する補助メニューが無い
- 紙資料を用いた河川点検では、異常箇所の発見・把握に手間と時間を要する

**【課題等】**

- 台帳のデジタル化に向け、点群や簡易写真等についての規定を見直し、**規定の緩和を図ることが必要**
- **河川管理の効率化・高度化**に向け、台帳等のデジタル化や河川点検の省力化など**河川DX**を支援する**予算制度が必要**

### 3 災害に強い県土づくりのための流域治水の推進 土砂災害防止のためのインフラDXへの支援

提言  
内容

土砂災害警戒区域指定などに資する地形図の高精度化、砂防指定地図及び施設台帳等のデジタル化など  
**砂防事業におけるインフラDXの取組**を加速できるよう、国からの**財政的な支援**を拡充すること。

#### 土砂災害警戒区域指定に用いる数値標高モデル等の 高精度な地形情報を活用した流域管理

##### 【現状】

#### 土砂災害対策を進めるための流域管理

- ・土砂災害警戒区域の二巡目調査
- ・流域内に堆積する土砂の迅速かつ効率的な把握
- ・山地での危険な土地改変の監視

⇒**広域をカバーする高精度な地形情報が必要**

##### 【課題】

- ・県内の高精度地形情報を含んだ地図の範囲は、まだ限定的

⇒土砂災害防止法に基づく基礎調査を全域で進め、高精度地形情報を収集

- ・通常の交付金事業の補助率  $1/2$  に比べ基礎調査費の補助率は  $1/3$  と低い
- ・基礎調査に要する費用は約 12 億円（内県費は約 8 億）に上る

※R2～R6における本県での試算額

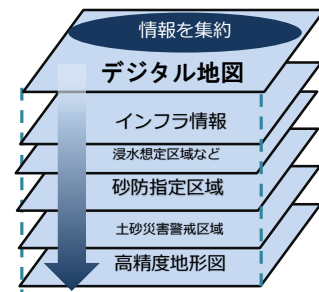
**調査費用が  
県財政を圧迫！**

**土砂災害防止法に基づく基礎調査を迅速かつ確実に進めるため財政支援が必要**

#### 砂防施設台帳等のオープンデータ化

砂防指定地図  
台帳など膨大な紙資料

様々な情報を一元化した  
デジタル地図の作成で効率UP



##### 【現状】

- ・砂防指定地図等は紙資料のものがまだ多く、指定時の公図と現況地形、地番等が整合せず**指定範囲が不明確な場合が多い**
- ・インフラデータ、様々なハザード情報も**つながりが無く、それぞれを十分に活用できていない**

##### 【課題】

- ・指定範囲の確定に必要な、境界確定等の**現地調査が必要**
- ・台帳等のデジタル化を進め、様々なハザード情報と一元化した**システムが必要**

**これらの取り組みを支援する予算制度が必要**

- ・土砂災害防止法基礎調査費にかかる補助率かさ上げ等の支援が必要
- ・高精度な地形図作成や諸情報のデジタル化を支援する予算制度が必要



# 3 災害に強い県土づくりのための流域治水の推進 下水道の整備、地震対策および老朽化対策推進への支援

- 提言内容**
- 1 未普及地域の早期解消に向けた制度「**下水道整備推進重点化事業**」を堅持するとともに、促進のための**予算を確保**すること。
  - 2 能登半島地震の教訓をふまえ、重要な下水道施設の耐震化を推進する「**下水道総合地震対策事業**」を堅持するとともに、促進のための**予算を確保**すること。
  - 3 「**下水道ストックマネジメント支援制度**」に基づき、老朽化対策が着実に推進できるよう必要な**予算を安定的に確保**すること。

## 1 未普及解消に向けた制度の堅持及び予算確保

**現状** 三重県の下水道普及率は、大幅に遅れている  
下水道処理人口普及率(令和4年度末)  
全国平均 81.0%  
三重県 60.0%(全国第37位)

**下水道整備推進重点化事業の堅持**

●●●● 重点化計画エリア(一部)  
■ 交付対象範囲

計画策定により面整備の交付対象範囲が4割拡大

本事業の活用により整備が加速

津市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市で実施中  
**下水道整備概成に向けて本事業の堅持が必要**

**下水道未普及解消の促進**

県内23市町が下水道を供用しており、うち11市町が重点的に公共下水道の管渠延伸及び面整備等未普及解消に取り組んでいる

令和7年度末下水道処理人口普及率目標値 67.0%  
(三重県生活排水処理アクションプログラム中期目標)

**未普及解消促進のための予算確保が必要**

## 2 地震対策の予算確保

**現状** 耐震化、液状化対策を継続する必要がある  
耐震化率(令和4年度末)  
処理場 72.2% ポンプ場 75.0%  
管渠 92.7% マンホール 99.7%

**下水道総合地震対策事業の堅持**

能登半島地震での被害状況(左:施設被害、右:マンホール浮上)

三渡川中継ポンプ場  
(令和6年度耐震対策実施予定)

下水道の復旧には多くの時間と費用が必要。そのため、長期間生活環境が著しく悪化し、被災者の生命活動に大きな影響を与える

**発災時の下水道機能維持、早期機能回復のため安定的な予算確保が必要**

## 3 老朽化対策の予算確保

**現状** 多くの処理場の設備が、老朽化により更新時期を迎えている  
設備更新率(令和4年度末) 13.1%  
目標値(令和6年度末) 29.8%

**下水道ストックマネジメント支援制度に基づく老朽化対策の推進**

更新  
中央監視設備

適切な老朽化対策が実施できないと処理施設の停止や機能低下が生じ、公共用水域の水質悪化を招く

対策費用の一時的な集中を避け、費用の平準化や縮減を図るため、下水道ストックマネジメント計画を策定

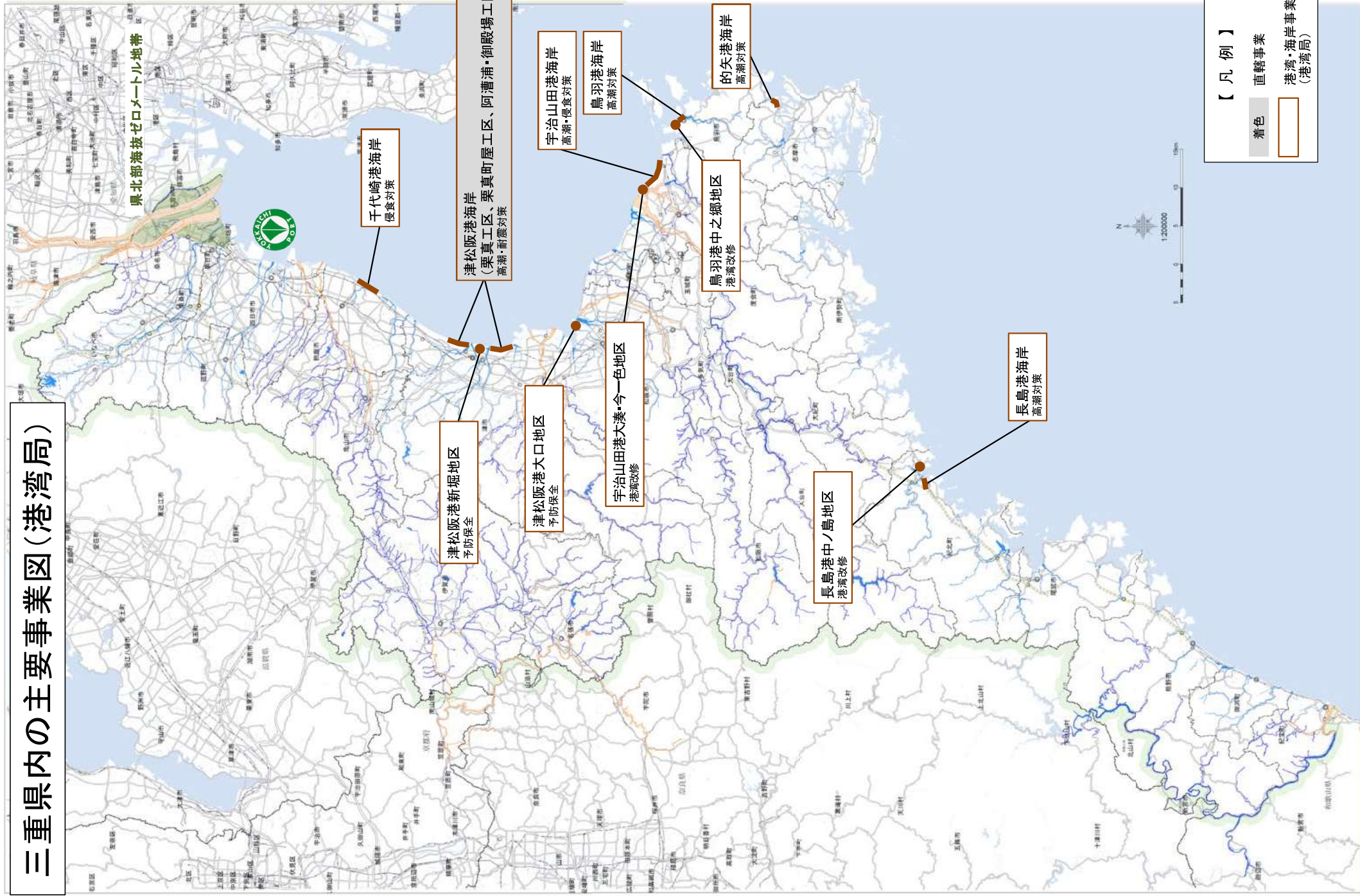
【イメージ】

対策費用の推移 → 老朽化費用を平準化！縮減！ → 平準化した対策費用の推移

令和2年度から下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化対策を実施

**健全な機能維持のため、安定的な予算確保が必要**

# 三重県内の主要事業図(港湾局)



# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 三重県の港湾脱炭素化の推進、港湾の利活用による地域活性化の支援

提言内容 地域の港湾で取り組んでいる **脱炭素化の推進**、**地域産業**、**観光の活性化**に向け、**財政支援や制度改善**を行うこと。

## 三重県港湾みらい共創本部

令和4年度に港湾に係る課題への対応を目的に部局横断組織として設置し、現在、3つのモデル港（津松阪港、尾鷲港、鳥羽港）を選定し、3つの検討項目（脱炭素化、地域産業活性化、観光活性化）に対して様々な取組のとりまとめを進めている

検討項目	(1) 港湾の脱炭素化	(2) 港湾による地域産業活性化	(3) 港湾を利用した観光活性化
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 脱炭素化推進事業を着実に実行するため、インセンティブの確保が必要</li> </ul>  <p>環境省HP</p> <p>脱炭素化推進事業の例（FCフォークリフト）</p> <p>導入コストが高く、早期導入の決断ができない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 脱炭素技術の最新動向の把握が困難</li> </ul>  <p>豊通エアリキッドハイドロジェン エナジー（株）HP</p> <p>脱炭素技術の例（水素ステーション）</p> <p>次世代エネルギーの普及状況に応じた推進計画の修正が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大規模遊休地への民間投資に向け、港湾管理者の早期対応が必要</li> </ul>  <p>進出企業の要望に対応した柔軟な港湾計画変更が必要</p> <p>中部電力三田火力発電所跡地</p> <p>尾鷲港の大規模遊休地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大型浮体式洋上風力発電の基地港に必要な機能が不明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光事業者などが所有する係留施設など、港湾管理者以外の港湾施設や臨海部集客施設が多数ある</li> </ul>  <p>TOBA Marine Terminal</p> <p>鳥羽マリンターミナル</p> <p>ニーズの変化に合わせた設備の改修ができない</p>  <p>伊勢湾フェリー</p>
要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 脱炭素化推進事業のインセンティブ確保のための新制度の創設</li> <li>● 最新の脱炭素技術の動向に関する情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 港湾計画変更の手続きの簡素化や計画変更業務へ財政支援</li> <li>● 洋上風力発電基地港など新たな港湾利用に関する整備計画立案に向けた支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鳥羽市やフェリー事業者が所有・運営する港湾施設や臨海部集客施設への間接補助など、助成制度の創設</li> </ul>

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 海岸保全施設・港湾施設の地震・津波・老朽化対策の推進への支援

**提言内容**

- 1 **能登半島地震の液状化による被害を踏まえ**、南海トラフ地震による被災リスクの高い「津波避難対策特別強化地域」において、緊急性の高い**海岸保全施設の地震・津波対策**を強力に推進できるよう、**予算を確保**すること。
- 2 能登半島地震でも確認された**海上輸送の重要性**を踏まえ、**港湾施設の老朽化対策や地震対策**の**予算を確保**すること。

## 南海トラフ地震に備えた海岸堤防の整備

●南海トラフ地震  
今後30年以内の発生確率は70～80%

令和2(2020)年1月、国の地震調査委員会

＜三重県で想定される被害＞  
死者数約4万人、経済被害額約2.1兆円  
県南部では、ほぼ全域で既設堤防を越える

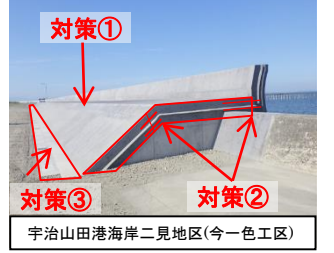
＜海岸堤防強靱化対策が必要＞

特に、県南部では非常に大きな津波が短時間で襲来する津波が堤防を越えた場合でも堤防を壊れにくくする対策を実施し、避難時間の確保を図る



- 津波避難対策特別強化地域
- 津波が短時間20分以内に襲来する海岸
- 高潮・侵食対策実施海岸 5海岸
- うち堤防強靱化対策実施海岸 3海岸

### 海岸堤防強靱化対策の整備事例



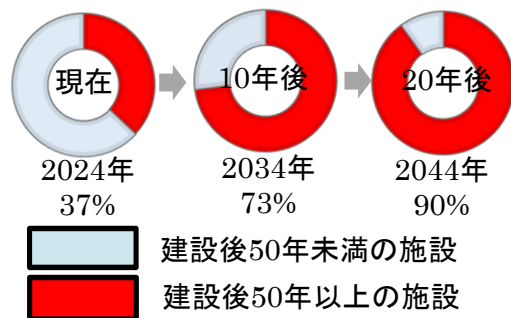
対策① 天端・裏法コンクリートの被覆厚を確保  
対策② 差鉄筋を配置し、構造の一体化  
対策③ 法尻コンクリートによる洗掘防止

## 地域の産業・経済を支える港湾施設の老朽化対策と地震対策

### 予防保全に向けた老朽化対策



### 建設後50年以上経過する施設の割合 (防波堤・岸壁・物揚場)



「事後保全」から「予防保全」に基づくメンテナンスへの転換を図るために老朽化対策が強力に推進できるよう、予算の確保が必要

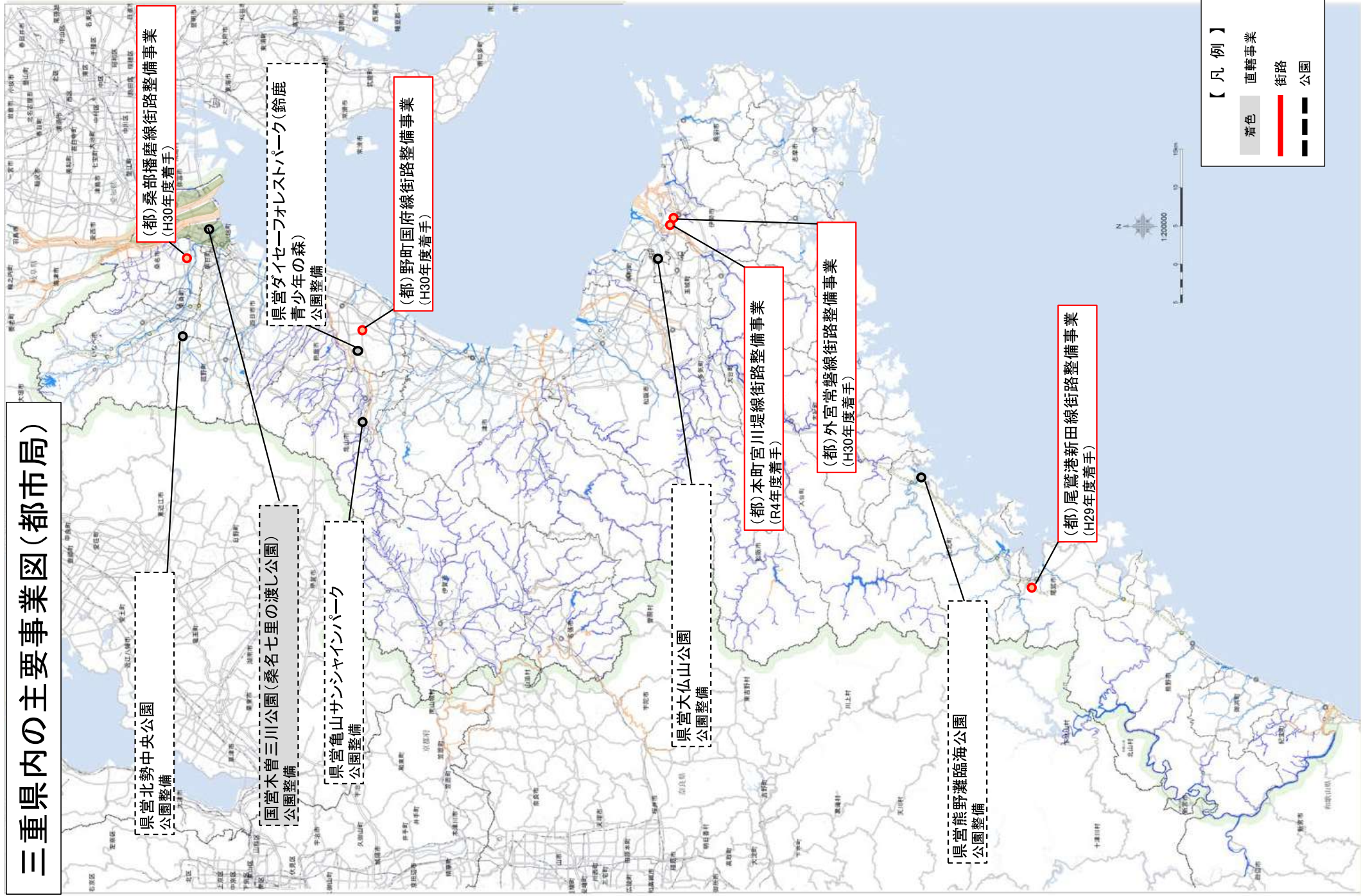
### 大規模地震時の緊急輸送を確保するための地震対策



能登半島地震において発生した岸壁の破壊や背後の沈下を防ぐため、現況の耐震基準を満たさない耐震強化岸壁の改修を早期に完了できるように、予算の確保が必要

「津波避難対策特別強化地域」において地震・津波対策が強力に推進できるよう、予算の確保が必要

# 三重県内の主要事業図(都市局)





# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 都市公園の整備および老朽化対策の推進への支援

提言内容 交流・連携の拠点となるとともに、地域の防災機能向上に資する**都市公園の整備・老朽化対策**に必要な**予算を確保**すること。

## 都市公園 スポーツ交流や子育ての拠点となる都市公園の整備

くにしのはま  
●**国市浜公園**／尾鷲市

中部電力の発電所跡地を活用し  
地域活性化の拠点に

●**大仏山公園**／三重県

子ども遊具を移設し  
安全性向上

野球場の改修

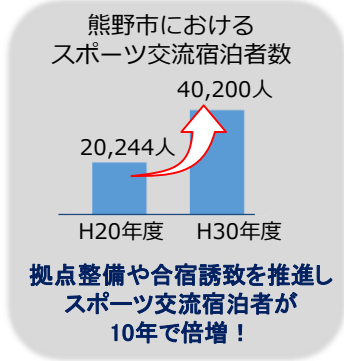
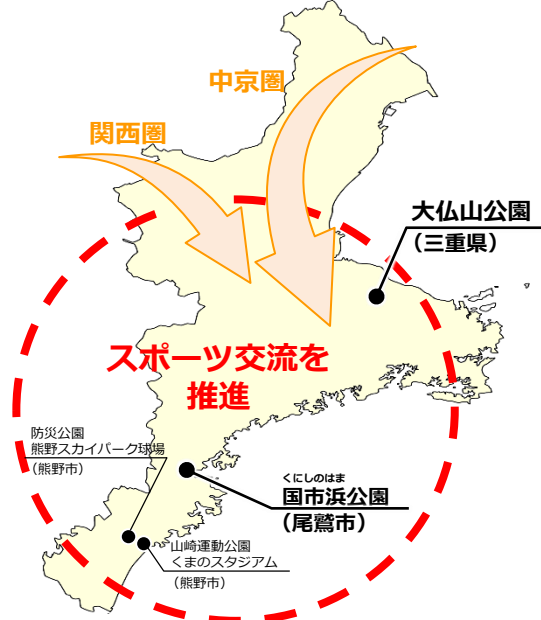
スポーツ交流や子育ての拠点  
としてリニューアルを検討

キッスパーク

野球場

多目的スポーツ  
芝生広場

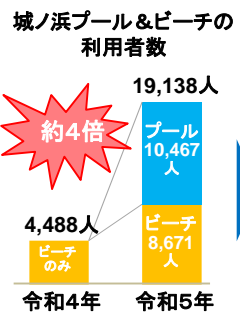
東紀州地域の各市町と連携し  
スポーツ交流の拠点として整備



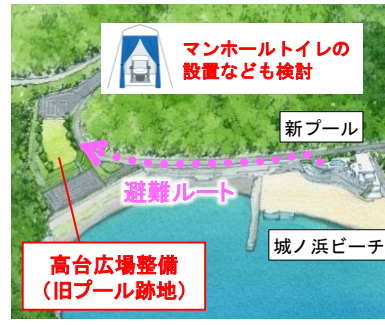
交流・連携の拠点となる都市公園の整備に係る**予算確保が必要**

## 都市公園 地域の防災機能向上に資する公園施設の整備

### ●熊野灘臨海公園／三重県



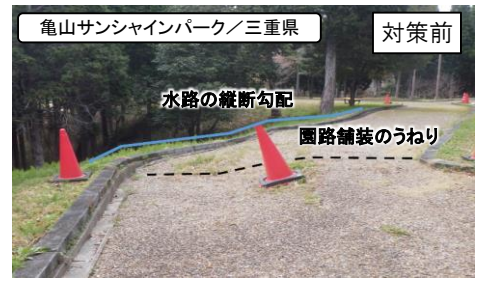
子どもから大人まで楽しめる設備が充実した  
新プールを整備し、利用者が大幅に増加



津波発生時に利用者が安心して  
避難できる高台広場の整備

地域の防災機能向上に資する公園施設等の整備に係る**予算確保が必要**

## 都市公園 都市公園の老朽化対策



老朽化により、大規模災害時に十分な  
防災機能を発揮できないおそれ



長寿命化計画に基づく計画的な  
対策により安全・安心を確保

公園施設の計画的な修繕・更新に係る**予算確保が必要**

# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 緊急輸送道路の無電柱化、通学路等の安全対策への支援

提言  
内容

- 1 大規模自然災害への備えとして、**緊急輸送道路の無電柱化**に必要な街路整備の**予算を確保**すること。
- 2 **通学路等の安全対策**に必要な街路整備の**予算を確保**すること。

## 街路 緊急輸送道路の無電柱化

千葉県では令和元年房総半島台風の影響で、約2千本の電柱が倒壊し、停電の長期化など、住民生活に甚大な影響を与えた。また、石川県の令和6年能登半島地震においては、約3千本の電柱が倒壊

令和6年能登半島地震による電柱倒壊の様子(石川県)



出典：北陸電力送配電HP

発災後の緊急輸送や災害応急対策等を行う緊急輸送道路の機能確保のため、無電柱化を推進する必要がある

無電柱化を推進するためには多額の予算が必要



(都)本町宮川堤線 (R7継続)

前回の神宮式年遷宮の祭事「お木曳き」

外宮周辺(伊勢市)で整備が進む緊急輸送道路の無電柱化



(都)外宮常磐線 (R7継続)



(都)外宮度会橋線 (事業完了)



## 街路 通学路等の安全対策

市街地の通学路等は、歩行者の利用が多く、車両の通行も多いが、歩道が未整備となっている箇所があり、歩行者の安全性が確保されていない

歩行者の安全性を確保するためには、歩道を整備し車両との動線を分離する必要がある。整備には、連続立体など大規模な構造物も多く、工事に多額の予算が必要

(都)野町国府線(鈴鹿市) (R7継続)



通学路等の安全確保が課題



集合住宅等の建物を移転し、整備が進んでいる。令和5年5月一部供用開始

(都)服部橋新都市線(伊賀市) (R4完)



整備前

歩行者と自動車とが錯綜し危険



整備後

道路利用者の安全性、利便性が向上

(都)桑部播磨線(桑名市) (R7継続)



連続立体

在良小学校  
国道421号  
至桑名1.C  
至桑名市街

三枚鉄道  
県道尾川西別所線

新通学路  
員弁川  
県道桑名大安線

街路事業  
道路事業

通学路等の安全確保及び渋滞の緩和が課題。用地買収が99%完了し、本格的に本線工事着手へ



# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 市街地における賑わいの創出への支援

- 提言  
内容
- ゆとりある「駅まち空間」の形成に必要な**予算を確保**すること。
  - ウォーカブルな空間の形成に必要な**予算を確保**すること。

## 街路 ゆとりある「駅まち空間」の形成 (都市・地域交通戦略推進事業)

- 駅前広場の交通動線が錯綜
- 駅周辺に人が集う空間が不足
- バス乗り場が分散

利便性・快適性・安全性の高いゆとりある駅まち空間の形成をめざす

リージョンコアYOKKAICHI地区  
近鉄四日市駅周辺（四日市市）R8完成予定



円形デッキ完成イメージ図

中央通り完成イメージ図

## 都市再生 ウォーカブルな空間の形成 (まちなかウォーカブル推進事業)

人口減少、生産年齢人口の減少により、市街地の活力が低下

市街地に人が集まる動機や居心地の良さが必要

リージョンコアYOKKAICHI地区  
中央通り（四日市市）R7完成予定

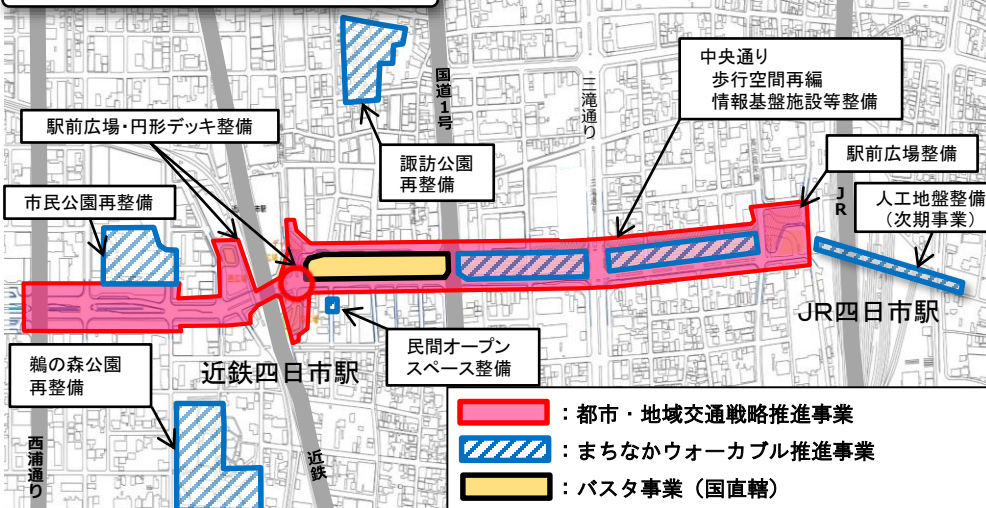


整備中の自転車道、植栽

整備中のスマート街路灯（AIカメラ付き）

※四日市市、熊野市の2市で事業実施中

### リージョンコアYOKKAICHI地区



### 事業スケジュール（工事期間）

区 間	整備内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
西浦通り	歩行空間再編 公園再整備		←→					
近鉄四日市駅	円形デッキ整備 歩行空間再編 公園再整備		←→					
国道1号	バスタ整備					←→		
JR四日市駅	歩行空間再編 公園整備 駅前広場整備					←→		

※ R5.6 四日市市公表の「ニワミチよっかいち」中央通り再編基本計画を参考に作成

令和4年9月～10月実施  
賑わい創出社会実験  
スケートボードパーク



令和5年11月実施  
モビリティ実証実験  
多様なモビリティで  
延べ1,700人が市内を移動



# 4 魅力ある地域づくりの基礎となる社会資本整備の推進 「2024年問題」の解消に向けた持続可能な建設業の実現への支援

- 提言内容
- 1 地域建設企業が健全で安定的な経営を続けるため、直轄事業において **地域建設企業への受注機会の確保**を図ること。
  - 2 **時間外労働上限規制**に対応するため、**標準歩掛の全面的な見直し、一般管理費率の見直し**をすること。
  - 3 **若手技術者が入職しやすい職場環境**を整えるため、**民間工事への週休2日制の導入を制度化**すること。

## 地域建設業の安定経営への対応

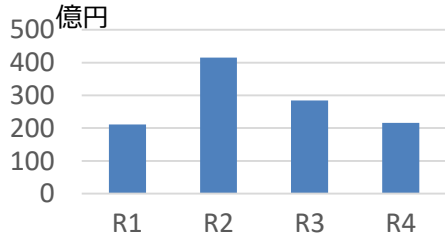
### 地域建設業の状況

- ✓ 地域建設業の多くが公共工事に依存しておりその経営力は地域の公共事業費に大きく影響される
- ✓ 県内では、東海環状自動車道や新宮紀宝道路の開通が予定されており、今後、直轄事業が減少する恐れがある

### 地域建設企業への安定した工事発注の確保

継続的・安定的に直轄事業量を確保するとともに、**地域の建設業が活躍できる発注方式について検討し、地域建設企業への安定した工事発注が必要**

三重県内所在地企業への発注金額  
(中部地方整備局 土木一式工事)



## 時間外労働の上限規制への対応

### 建設業の時間外労働の上限規制

- ✓ 令和6年4月1日から建設業においても罰則付きの時間外労働規制が適用
- ✓ 朝礼や準備などを1日の就業時間に反映し、適切な予定価格や工期を設定する必要がある
- ✓ 時間外労働の上限規制に対応するため、DXを導入し、生産性を向上させる必要がある

### 標準歩掛の全面的な見直し

朝礼や作業準備、安全教育などを1日の就業時間に適切に反映した**標準歩掛の全面的な見直しをすること**

### 生産性向上の推進に向けた一般管理費率の見直し

建設現場の生産性向上の推進に向け**DX人材の育成や確保に必要な経費を反映させた一般管理費率とすること**



(ICT活用工事講習)



(BIM/CIM活用)

## 若手技術者が入職しやすい職場環境の整備

### 建設業界の現状

- ✓ 公共工事の週休2日制は一定進んでいるものの、民間工事での導入はわずかな状況
- ✓ 建設業界の高齢化が進んでおり、建設業労働者のうち、4分の1以上が60歳以上となっている一方で、29歳以下は1割程度

### 民間工事の週休2日制を推進

公共工事においては週休2日制の取組が一定進んでいるものの、民間工事においては取組状況がいまだに低く建設業界への若手技術者の入職に懸念

**業界全体を若手技術者に入職してもらいやすい環境にするため、民間工事の週休2日制(4週8休)を導入することを制度化**

★建設業(技術者)における4週8休以上の取得状況  
**民間工事の受注がほとんどの企業 9.5%**

出典:国土交通省 令和4年度調査「適正な工期設定等による働き方改革の推進に関する調査」



# 5 安全で快適な住まいまちづくりの推進 住宅・避難路沿道建築物の耐震化促進への支援

提言内容

- 1 耐震性が不十分な**住宅**を解消するため、住宅の**耐震改修工事への補助限度額を増額**すること。
- 2 避難路沿道建築物の**耐震化促進**のため、**補助金限度額算定単価の見直し**と必要な**予算を確保**すること。

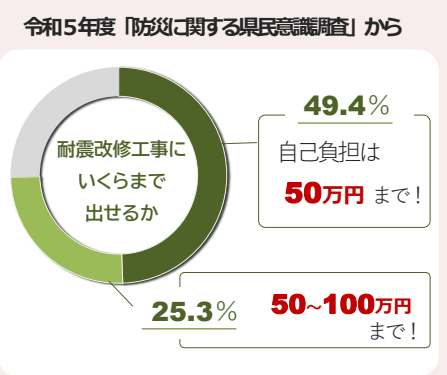
## 1. 住宅の耐震化促進

目標	現状
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国の基本方針</li> </ul> <p>2030年までにおおむね解消</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住宅の耐震化率 (三重県)</li> </ul> <p><b>87.2%</b> (令和4年)</p>



【能登半島地震】

### 問題点



耐震改修工事の中央値**321万円** (令和4年)  
(その場合は、自己負担 **221万円**…)

耐震改修工事を進めるためには  
自己負担の軽減が必要

### 木造住宅耐震化への支援・取組

**耐震改修工事補助**  
(国・県・市町で最大100万円)

(例) 工事費321万円

所有者等 221万	国 1/2 50万	県 1/4 25万	市町 1/4 25万
--------------	-----------------	-----------------	------------------

補助金額 **100万円** (上限)

能登半島地震を踏まえ

**耐震補助制度の見直しを!**

**要望** 住宅の耐震改修工事の**補助限度額の増額**を!

## 2. 避難路沿道建築物の耐震化促進

目標	現状	問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国の基本方針</li> </ul> <p>2025年までにおおむね解消</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 避難路沿道建築物の耐震化率 (令和5年)</li> </ul> <p><b>30.9%</b> (29棟/94棟)</p>	<p>建設資材や人件費高騰による <b>耐震改修工事費の上昇</b></p>

### 避難路沿道建築物耐震化への支援

建築物所有者の 声

- ・耐震改修補助
- ・建替工事補助

等はあるが…

建設資材や人件費が高騰し、工事費も上昇しているので増額してほしい



【能登半島地震】

**要望** 耐震化をより強力に推進するため  
建築物の**補助金限度額算定単価の見直し**を!

### 避難路沿道建築物耐震改修等県内事例

<p>建替前</p>  <p>建替後</p>  <p>【四日市市】</p>	<p>除却前</p>  <p>除却後</p>  <p>【熊野市】</p>	<p>耐震改修後</p>  <p>耐震補強材</p>  <p>【松阪市】</p>
---	--	--

**要望** まちの安全・安心のために必要な**予算の確保**を!

# 5 安全で快適な住まいまちづくりの推進 空き家対策の推進、狭あい道路解消促進への支援

- 提言内容
- 1 危険な空き家の解消や空き家の流通促進のため、**空き家対策**に関する必要な**予算を確保**すること。
  - 2 安全な市街地形成のため、**狭あい道路整備等促進事業**に必要な**予算を確保**すること。

## 空き家対策の推進

### 空き家対策に関する必要な予算の確保

**現状** (平成30年)

#### 問題点

三重県内の  
居住目的のない空き家総数が  
20年間で**約1.9倍**に増加  
⇒**今後更に増加する見込み**

- ・空き家率:三重県**15.2%**  
(全国平均:13.6%)
- ・居住目的のない空き家率:三重県**9.1%**  
(全国平均:5.6%)

**取組** 空家対策特別措置法の一部改正を受け、県・市町ともに  
空き家対策の取組を強化

#### 県の取組

移住者向け住宅や地域活性化のための施設として**空き家の利活用**を行う市町への**支援を強化**

#### 市町の取組

移住者や子育て世帯向けの**空き家活用事業**や**財産管理人制度**を活用する市町数が増加

#### 空き家対策総合支援事業

(事例:伊賀市)空き家除却事業【略式代執行】



R6年度市町要望  
前年比約**2.3倍**

- ・空き家除却事業
- ・空き家活用事業
- ・財産管理人選任請求の予納金

等

**要望** 空き家対策を一層推進するために必要な予算確保を!

## 狭あい道路解消促進

### 狭あい道路解消促進のために必要な予算の確保

**現状**

狭あい道路整備等促進事業を  
県内の**11市町**で実施

- ・桑名市
- ・東員町
- ・朝日町
- ・四日市市
- ・鈴鹿市
- ・亀山市
- ・津市
- ・松阪市
- ・明和町
- ・玉城町
- ・伊勢市



**目標**

三重県の狭あい道路整備等促進事業の計画(第II期)において、  
令和6年度~令和10年度までに  
**46.9km** を整備予定

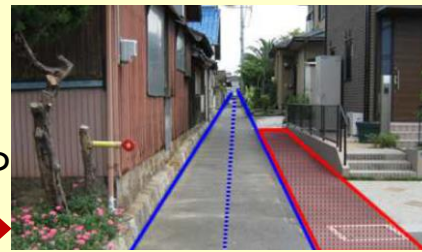
#### 問題点

セツバック部分が未整備だと  
通行上危険



#### 狭あい道路整備等促進事業

- ・測量費
- ・分筆、登記費
- ・工作物等の除却、移設費
- ・道路後退部分の舗装工事費



#### 県内事業実施事例(津市)



**要望** 安全な市街地の形成のために必要な予算確保を!